

(案)

農薬・添加物評価書

フルジオキサニル

2009年3月

食品安全委員会農薬専門調査会  
食品安全委員会添加物専門調査会

# 目 次

|    | 頁                                 |
|----|-----------------------------------|
| 1  |                                   |
| 2  |                                   |
| 3  | ○ 審議の経緯..... 3                    |
| 4  | ○ 審議の経緯..... 3                    |
| 5  | ○ 食品安全委員会委員名簿..... 3              |
| 6  | ○ 食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿..... 3     |
| 7  | ○ 食品安全委員会添加物専門調査会専門委員名簿..... 4    |
| 8  | ○ 要 約..... 5                      |
| 9  |                                   |
| 10 | I. 評価対象農薬・添加物の概要..... 6           |
| 11 | 1. 用途..... 6                      |
| 12 | 2. 有効成分の一般名..... 6                |
| 13 | 3. 化学名..... 6                     |
| 14 | 4. 分子式..... 6                     |
| 15 | 5. 分子量..... 6                     |
| 16 | 6. 構造式..... 6                     |
| 17 | 7. 開発及び評価要請の経緯..... 6             |
| 18 |                                   |
| 19 | II. 安全性に係る試験の概要..... 8            |
| 20 | 1. 動物体内運命試験..... 8                |
| 21 | (1) 動物体内運命試験（ラット）..... 8          |
| 22 | ① 血中濃度推移..... 8                   |
| 23 | ② 排泄..... 8                       |
| 24 | ③ 胆汁中排泄..... 9                    |
| 25 | ④ 体内分布..... 9                     |
| 26 | ⑤ 代謝物同定・定量..... 10                |
| 27 | (2) 動物体内運命試験（ラット、青色物質の同定）..... 10 |
| 28 | (3) 動物体内運命試験（ヤギ）..... 10          |
| 29 | 2. 植物体内運命試験..... 11               |
| 30 | (1) 稲..... 11                     |
| 31 | (2) 小麦..... 12                    |
| 32 | (3) ぶどう..... 13                   |
| 33 | (4) トマト..... 13                   |
| 34 | (5) たまねぎ..... 14                  |
| 35 | (6) もも..... 14                    |
| 36 | 3. 土壌中運命試験..... 15                |
| 37 | (1) 好氣的土壌中運命試験①..... 15           |
| 38 | (2) 好氣的土壌中運命試験②..... 15           |

|    |  |    |
|----|--|----|
| 1  | (3) 好氣的及び好氣/嫌氣的土壤中運命試験                         | 16 |
| 2  | (4) 土壤吸着試験                                     | 16 |
| 3  | 4. 水中運命試験                                      | 16 |
| 4  | (1) 加水分解試験                                     | 16 |
| 5  | (2) 水中光分解試験                                    | 17 |
| 6  | ① 蒸留水及び自然水中光分解試験                               | 17 |
| 7  | ② 滅菌緩衝液中光分解試験 ([phe- <sup>14</sup> C]フルジオキシニル) | 17 |
| 8  | ③ 滅菌緩衝液中光分解試験 ([pyr- <sup>14</sup> C]フルジオキシニル) | 17 |
| 9  | ④ 滅菌自然水中光分解試験                                  | 17 |
| 10 | 5. 土壤残留試験                                      | 18 |
| 11 | 6. 作物残留試験                                      | 18 |
| 12 | 7. 一般薬理試験                                      | 18 |
| 13 | 8. 急性毒性試験                                      | 20 |
| 14 | 9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験                        | 21 |
| 15 | 10. 亜急性毒性試験                                    | 21 |
| 16 | (1) 90日間亜急性毒性試験(ラット)                           | 21 |
| 17 | (2) 90日間亜急性毒性試験(マウス)                           | 22 |
| 18 | (3) 90日間亜急性毒性試験(イヌ)                            | 23 |
| 19 | 11. 慢性毒性試験及び発がん性試験                             | 23 |
| 20 | (1) 1年間慢性毒性試験(イヌ)                              | 23 |
| 21 | (2) 2年間慢性毒性/発がん性併合試験(ラット)                      | 24 |
| 22 | (3) 18カ月間発がん性試験(マウス)①                          | 25 |
| 23 | (4) 18カ月間発がん性試験(マウス)②                          | 25 |
| 24 | 12. 生殖発生毒性試験                                   | 26 |
| 25 | (1) 2世代繁殖試験(ラット)                               | 26 |
| 26 | (2) 発生毒性試験(ラット)                                | 27 |
| 27 | (3) 発生毒性試験(ウサギ)                                | 27 |
| 28 | 13. 遺伝毒性試験                                     | 27 |
| 29 | 14. 一日摂取量の推計等                                  | 29 |
| 30 | 15. 耐性菌の選択                                     | 29 |
| 31 |  |    |
| 32 | Ⅲ. 食品健康影響評価                                    | 31 |
| 33 | ・別紙1: 代謝物/分解物略称                                | 37 |
| 34 | ・別紙2: 検査値等略称                                   | 38 |
| 35 | ・別紙3: 作物残留試験成績(農薬としての使用)                       | 39 |
| 36 | ・別紙4: 作物残留試験成績(添加物としての使用)                      | 44 |
| 37 | ・別紙5: 推定摂取量                                    | 54 |
| 38 | ・参照  | 57 |

1 <審議の経緯>

- 2005年 11月 29日 残留農薬基準告示（参照 1）
- 2007年 6月 25日 厚生労働大臣より残留基準設定に係る食品健康影響評価  
について要請（厚生労働省発食安第 0625006 号）、関係書  
類の接受（参照 2～10）
- 2007年 6月 28日 第 196 回食品安全委員会（要請事項説明）（参照 11）
- 2008年 7月 11日 第 22 回農薬専門調査会総合評価第二部会（参照 12）
- 2008年 8月 1日 第 23 回農薬専門調査会総合評価第二部会（参照 13）
- 2008年 11月 18日 第 45 回農薬専門調査会幹事会（参照 14）
- 2008年 11月 21日 厚生労働大臣より添加物の指定に係る食品健康影響評価  
について要請（厚生労働省発食安第 1120003 号）、関係書  
類の接受（参照 21）
- 2008年 11月 27日 第 264 回食品食品安全委員会（要請事項説明）（参照 16）
- 2008年 12月 15日 第 65 回添加物専門調査会（参照 18）
- 2009年 1月 21日 第 47 回農薬専門調査会幹事会（参照 17）
- 2009年 2月 2日 第 67 回添加物専門調査会（参照 19）
- 2009年 3月 23日 第 69 回添加物専門調査会（参照 20）

2

3 <食品安全委員会委員名簿>

- 4 見上 彪（委員長）
- 5 小泉直子（委員長代理）
- 6 長尾 拓
- 7 野村一正
- 8 畑江敬子
- 9 廣瀬雅雄
- 10 本間清一

11

12 <食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿>

（2008年3月31日まで）

|           |       |      |
|-----------|-------|------|
| 鈴木勝士（座長）  | 三枝順三  | 布柴達男 |
| 林 真（座長代理） | 佐々木有  | 根岸友恵 |
| 赤池昭紀      | 代田真理子 | 平塚 明 |
| 石井康雄      | 高木篤也  | 藤本成明 |
| 泉 啓介      | 玉井郁巳  | 細川正清 |
| 上路雅子      | 田村廣人  | 松本清司 |
| 臼井健二      | 津田修治  | 柳井徳磨 |
| 江馬 眞      | 津田洋幸  | 山崎浩史 |

大澤貫寿  
太田敏博  
大谷 浩  
小澤正吾  
小林裕子

出川雅邦  
長尾哲二  
中澤憲一  
納屋聖人  
西川秋佳

山手丈至  
與語靖洋  
吉田 緑  
若栗 忍

(2008年4月1日から)

鈴木勝士 (座長)  
林 真 (座長代理)  
相磯成敏  
赤池昭紀  
石井康雄  
泉 啓介  
今井田克己  
上路雅子  
臼井健二  
太田敏博  
大谷 浩  
小澤正吾  
川合是彰  
小林裕子

佐々木有  
代田眞理子  
高木篤也  
玉井郁巳  
田村廣人  
津田修治  
津田洋幸  
長尾哲二  
中澤憲一\*  
永田 清  
納屋聖人  
西川秋佳  
布柴達男  
根岸友恵

根本信雄  
平塚 明  
藤本成明  
細川正清  
堀本政夫  
松本清司  
本間正充  
柳井徳磨  
山崎浩史  
山手丈至  
與語靖洋  
吉田 緑  
若栗 忍

\*2009年1月19日まで

1 <食品安全委員会添加物専門調査会専門委員名簿>

福島昭治 (座長)  
山添 康 (座長代理)  
石塚真由美  
井上和秀  
今井田克己  
梅村隆志  
江馬 眞  
久保田紀久枝  
頭金正博  
中江 大  
中島恵美  
林 真  
三森国敏  
吉池信男

2  
3  
4  
5

〈参考人〉  
池 康嘉  
森田明美

## 要 約

殺菌剤「フルジオキシニル」(CAS No. 131341-86-1) について、農薬抄録及び各種資料 (JMPR、米国等) 等を用いて食品健康影響評価を実施した。

評価に供した試験成績は、動物体内運命 (ラット及びヤギ)、植物体内運命 (稲、小麦、ぶどう、トマト、たまねぎ及びもも)、作物残留、急性毒性 (ラット)、亜急性毒性 (ラット及びイヌ)、慢性毒性 (イヌ)、慢性毒性/発がん性併合 (ラット)、発がん性 (マウス)、2 世代繁殖 (ラット)、発生毒性 (ラット及びウサギ)、遺伝毒性試験等である。

各種毒性試験結果から、フルジオキシニル投与による影響は主に肝臓、腎臓及び血液に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

各試験で得られた無毒性量について用量設定間隔等を考慮して比較検討した結果、イヌを用いた 1 年間慢性毒性試験の無毒性量 33.1 mg/kg 体重/日を根拠として、安全係数 100 で除した 0.33 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設定した。

1 **I. 評価対象農薬・添加物の概要**

2 **1. 用途**

3 殺菌剤（添加物としては防かび剤）

5 **2. 有効成分の一般名**

6 和名：フルジオキサニル

7 英名：fludioxonil (ISO 名)

9 **3. 化学名**

10 **IUPAC**

11 和名：4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンゾジオキサール-4-イル)ピロール-  
12 3-カルボニトリル

13 英名：4-(2,2-difluoro-1,3-benzodioxol-4-yl)pyrrole-  
14 3-carbonitrile

15 **CAS (No.131341-86-1)**

16 和名：4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンゾジオキサール-4-イル)-1*H*ピロール-  
17 3-カルボニトリル

18 英名：4-(2,2-difluoro-1,3-benzodioxol-4-yl)-1*H*pyrrole-  
19 3-carbonitrile

21 **4. 分子式**

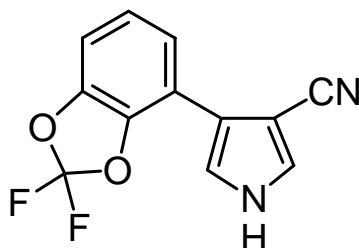
22  $C_{12}H_6F_2N_2O_2$

23 **5. 分子量**

24 248.19

25

26 **6. 構造式**



27

28 **7. 開発及び評価要請の経緯**

29 フルジオキサニルは、1984年にスイス国チバガイギー社（現シンジェンタ社）  
30 が合成したフェニルピロール系の非浸透移行性殺菌剤である。本剤は、糸状菌の原  
31 形質膜に作用することにより物質の透過性に影響を及ぼし、アミノ酸やグルコース  
32 の細胞内取り込みを阻害して、抗菌作用を示すことが示唆されている。我が国では  
33 1996年に農薬登録され、水稻及び野菜類の種子消毒剤ならびに各種野菜類への茎  
34 葉処理剤として使用されている。ポジティブリスト制度導入に伴う暫定基準値が設  
35 定されている。海外では、70カ国以上の国において登録されている。

1 我が国では、収穫後の農作物への使用の目的が、かび等による腐敗、変敗の防止で  
2 ある場合には、食品の保存の目的で使用したと解されるため、そのようなものは添加  
3 物に該当する。フルジオキソニルは防かび目的で収穫後の農作物に使用されることが  
4 見込まれ、添加物指定等について、事業者から厚生労働省に指定要請がなされたこと  
5 から、厚生労働省が指定等の検討を開始するに当たり、食品安全基本法に基づき、食  
6 品安全委員会に食品健康影響評価の実施を要請したものである。



## II. 安全性に係る試験の概要

農薬抄録（2007年）、JMPR資料（2004年）、米国資料（2000、2002、2003及び2004年）、豪州資料（1997年）及びカナダ資料（2006年）等を基に、毒性に関する主な科学的知見、一日摂取量の推計結果等を整理した。（参照 2～9、15）

各種運命試験[II. 1～4]は、フルジオキシニルのピロール環の4位の炭素を<sup>14</sup>Cで標識したもの（[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニル）またはフェニル環の炭素を均一に<sup>14</sup>Cで標識したもの（[phe-<sup>14</sup>C]フルジオキシニル）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合はフルジオキシニルに換算した。代謝物/分解物等略称及び検査値等略称は別紙1及び2に示されている。

### 1. 動物体内運命試験

#### (1) 動物体内運命試験（ラット）

##### ① 血中濃度推移

Tif : RAIf ラット（一群雌3匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを低用量（0.5 mg/kg 体重）で単回経口投与して、血中濃度推移について検討された。さらに、十分なデータを得るために、Tif : RAIf ラット（一群雌雄各3匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを低用量（0.5 mg/kg 体重）または高用量（100 mg/kg 体重）で単回経口投与した試験が実施された。

各投与群における血中放射能濃度推移は表1に示されている。（参照 2、15）

[参照 添付 5-50、5-51]

表1 血中放射能濃度推移

| パラメーター                   | 低用量    |        | 高用量          |      |     |
|--------------------------|--------|--------|--------------|------|-----|
|                          | 雌      | 雄      | 雌            | 雄    |     |
| T <sub>max</sub> (時間)    | 0.5    | 0.25   | 0.25         | 8    | 4   |
| C <sub>max</sub> (µg/g)  | 0.0302 | 0.0652 | 0.0268       | 4.5  | 3.2 |
| T <sub>Cmax/2</sub> (時間) | 9      | 1      | <u>約 142</u> | 14.5 | 13  |

##### ② 排泄

Tif : RAIf ラット（一群雌雄各5匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを低用量または高用量で単回経口投与、低用量の非標識体を14日間反復経口投与後に、標識体を低用量で単回投与して排泄試験が実施された。

各投与群の投与後（最終投与後）24及び168時間の尿及び糞中排泄率は表2に示されている。

投与後168時間で、総投与放射能（TAR）の78～83%が糞中に、13～20%が尿中に排泄された。排泄率及び排泄経路には、性及び投与量による差はみられなかった。非標識体を反復投与した群では、尿への排泄率がやや低い傾向にあった。いずれの投与群でも、投与後24時間で76～91%TAR、投与後168時間で94～97%TARが糞及び尿中に排泄された。この結果から、腸肝循環は認められるもの

1 の、ラット体内に吸収された放射能は数日以内に完全に比較的速やかに排泄され  
2 た。

3 高用量投与群で測定された呼気への排泄は、雌雄とも投与後 48 時間で  
4 0.01%TAR 未満であった。(参照 2、15)

5 [参照 添付 5-50]

表 2 投与後（最終投与後）24 及び 168 時間の尿及び糞中排泄率 (%TAR)

| 試料            |    | 低用量<br>(単回経口) |      | 高用量<br>(単回経口) |      | 低用量<br>(反復経口) |      |
|---------------|----|---------------|------|---------------|------|---------------|------|
|               |    | 雄             | 雌    | 雄             | 雌    | 雄             | 雌    |
| 投与後<br>24 時間  | 尿  | 15.6          | 15.9 | 15.8          | 17.6 | 12.9          | 14.1 |
|               | 糞  | 75.1          | 64.2 | 69.0          | 58.7 | 77.1          | 74.2 |
|               | 合計 | 90.7          | 80.1 | 84.8          | 76.3 | 90.0          | 88.3 |
| 投与後<br>168 時間 | 尿  | 16.2          | 16.9 | 16.8          | 19.5 | 13.4          | 14.6 |
|               | 糞  | 81.2          | 79.1 | 77.6          | 77.6 | 82.8          | 81.5 |
|               | 合計 | 97.4          | 96.0 | 94.4          | 97.1 | 96.1          | 96.1 |

6  
7 **③ 胆汁中排泄**

8 胆管カニューレを挿入した Tif : RAIf ラット（一群雌 5 匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フル  
9 ジオキシニルを高用量で単回経口投与して、胆汁中排泄試験が実施された。

10 投与後 48 時間の胆汁、尿及び糞中排泄率は表 3 に示されている。

11 投与後 48 時間で、胆汁、尿及び糞中にそれぞれ 68、10 及び 14%TAR が排泄  
12 された。胆汁及び尿中への排泄率から推定した吸収率は、24 時間後で約 60%、  
13 48 時間後で約 77%であった。(参照 2、15)

14 [参照 添付 5-50]

表 3 投与後 48 時間の胆汁、尿及び糞中排泄率 (%TAR)

| 試料 | 高用量 (単回投与) |
|----|------------|
| 胆汁 | 67.5       |
| 尿  | 10.0       |
| 糞  | 14.3       |
| 合計 | 91.8       |

15  
16 **④ 体内分布**

17 Tif : RAIf ラット（雌 10 匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを低用量で単回  
18 経口投与して、また、前述の排泄試験[1. (1)②]に用いた動物の投与 168 時間後  
19 の組織を採取して、体内分布試験が実施された。さらに、十分なデータを得るた  
20 めに、Tif : RAIf ラット（一群雌雄各 12 匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを  
21 低用量または高用量で単回経口投与して、体内分布について検討された。

22 低用量単回投与群の雌における組織中残留放射能は、C<sub>max</sub> 時点（投与 0.5 時  
23 間後）で肝臓、腎臓、血漿及び肺を除き 0.05 µg/g 以下、1/2 C<sub>max</sub> 時点（投与 9  
24 時間後）では、肝臓、腎臓及び血漿を除き 0.01 µg/g 以下であった。投与 168 時  
25 間後では、体内総残留量は 0.06~0.17%TAR まで低下し、各組織・臓器におけ

1 る残留量も急速に減少した。

2 雌雄に低用量または高用量を投与した試験では、低用量投与群の  $T_{max}$  時点  
3 (0.25 時間) で、組織中残留放射能は雌雄の肝臓 (1.05~1.08  $\mu\text{g/g}$ )、腎臓 (0.6  
4 ~0.9  $\mu\text{g/g}$ )、肺 (0.1~0.22  $\mu\text{g/g}$ )、血漿 (0.16~0.18  $\mu\text{g/g}$ )、雌の血液 (0.10  $\mu\text{g/g}$ )  
5 及び心臓 (0.13  $\mu\text{g/g}$ ) を除き 0.1  $\mu\text{g/g}$  以下であった。高用量投与群の  $T_{max}$  時点  
6 (雄: 8 時間、雌: 4 時間) では、肝臓 (11.5~12.8  $\mu\text{g/g}$ )、腎臓 (9.5~10.3  $\mu\text{g/g}$ )  
7 及び腹部脂肪 (2.7~7.3  $\mu\text{g/g}$ ) で比較的高かった。低用量、高用量投与群とも、  
8 組織中残留放射能は経時的に二相性を示して減少した。(参照 2、15)

9 [参照 添付 5-50、5-51]

## 10 ⑤ 代謝物同定・定量

11 前述の排泄試験[1. (1)②③]で得られた尿、糞及び胆汁を用いて、代謝物同定・  
12 定量試験が実施された。

13 尿中では代謝物 B (0.5~0.8%TAR)、C (0.5~1.1%TAR)、D (0.6~1.0%TAR)、  
14 E (0.5~1.1%TAR) 及び F (1.1~2.2%TAR) が、胆汁中では B (55.5%TAR)、  
15 C (0.2%TAR)、D (2.1%TAR) 及び E (1.7%TAR) が同定された。糞中ではこ  
16 れらの代謝物は認められず、親化合物 (1.5~12.2%TAR) が検出された。

17 以上の代謝物の他に、尿から青色物質が検出された。

18 主要代謝経路は、①ピロール環の 2 位の酸化及び抱合 (B、C の生成)、②ピ  
19 ロール環の 5 位の酸化及び抱合 (D、F の生成)、③フェニル環の水酸化及び抱  
20 合 (E の生成) であると推定された。(参照 2、15)

21 [参照 添付 5-52]

## 22 (2) 動物体内運命試験 (ラット、青色物質の同定)

23 ラットを用いた本剤の亜急性毒性試験[10. (1)]及び慢性毒性/発がん性併合試  
24 験[11. (2)]において尿の青色着色が認められたので、着色の程度及び原因を明ら  
25 かにするために、着色物質の分析が行われた。

26 ラット慢性毒性/発がん性併合試験[11. (2)]の 1,000 ppm 及び 3,000 ppm 投与  
27 群の衛星群から選抜した雌雄の尿を採取し、着色物質の同定が行われた。また、  
28 3,000 ppm 投与群の衛星群から選抜した雄に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキソニルを約  
29 10~16 mg/kg 体重の用量で単回強制経口投与した後、24 時間尿を採取し、着色  
30 物質の同定が行われた。

31 その結果、青色物質は、親化合物フルジオキソニルの二量体であることが確認  
32 された。すなわち、ピロール環が代謝的酸化を受け、さらに化学的酸化によって  
33 二量体が生成するものと考えられた。また、胆汁中における主要代謝物である B  
34 を  $\beta$ -グルクロニダーゼで加水分解した場合にも生成した。

35 この物質の着色の程度は用量に依存し、雌より雄の方が強かった。着色物質の  
36 排泄は投与開始後 3 カ月で安定状態に達した。(参照 2、15)

37 [参照 添付 5-53]

## 38 (3) 動物体内運命試験 (ヤギ)

1 泌乳ヤギ（アルパイン種/ヌビアン種交配、2 匹）に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシソ  
2 ニルを 150 mg/日の用量で 4 日間連続してカプセル経口投与し、動物体内運命試  
3 験が実施された。投与 2 日前からと殺まで連日、尿、糞及び乳汁を採取し、最終  
4 投与 6 時間後にと殺して、組織・臓器を採取した。

5 投与放射能の大部分が、糞中（50.5～59.8%TAR）及び尿中（15.2～22.7%TAR）  
6 に排泄され、総回収率（胃腸管内容物を含む）は 93.6～97.7%であった。組織内  
7 残留放射能濃度は、肝臓（5.37～6.18 µg/g）及び腎臓（2.89～2.92 µg/g）で最大  
8 であり、血中濃度は 0.47～0.49 µg/g であった。乳汁中の残留放射能濃度は、投  
9 与 4 日目に最大（1.64～2.92 µg/g）に達した。他の可食組織中の残留放射能濃度  
10 は、すべて血中濃度より低かった。

11 乳汁中の主要代謝物は D（乳汁中の総残留放射能（TRR）の 64.6%）及び C  
12 （または F）（13.8%TRR）であり、腎臓中の主要代謝物は D（腎臓中の 22.8%TRR）  
13 及び B（14.9%TRR）で、他に E、C（または F）及び親化合物（いずれも 10%TRR  
14 未満）が検出された。肝臓及び腹膜脂肪中では親化合物のみが、それぞれの組織  
15 中に 13.9 及び 82.6%TRR 認められた。テンダーロイン中残留放射能の主要成分  
16 は親化合物（23.6～42.7%TRR）で、他に B（2.3%TRR）及び C（または F）（7.2  
17 ～21.8%TRR）が検出された。

18 主要代謝経路は、①ピロール環の 2 位の水酸化及びグルクロン酸抱合（B の生  
19 成）、②ベンゾジオキソール環の 7 位の水酸化及びグルクロン酸抱合（E の生成）、  
20 ③E の代謝による腎臓中の安定なアグリコンの生成、④ピロール環の 5 位の水酸  
21 化及びグルクロン酸抱合（D の生成）、⑤ピロール環の 2 位または 5 位の硫酸抱  
22 合（C または F の生成）であると考えられた。（参照 2、15）

23 [参照 添付 5-54]

## 24 2. 植物体内運命試験

### 25 (1) 稲

26 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシソニルの 267 mg ai/L 溶液に、稲（品種：Labonnet）の  
27 種子を浸漬処理し、播種 38 日後（成熟度 25%）、76 日後（成熟度 50%）及び 152  
28 日後（収穫期）に植物試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。また、  
29 播種直後及び植物試料採取時に、播種地点から 5～10 cm 離れた位置から深さ 6  
30 インチ（約 15 cm）の土壌試料が採取された。

31 稲体各部及び土壌の残留放射能濃度は表 4 に示されている。

32 浸漬直後の種粒中の残留放射能濃度は 65.2 mg/kg であった。収穫時（処理 152  
33 日後）の稲体各部の残留放射能濃度は検出限界（0.002 mg/kg）以下に減少し、  
34 残留量は極めて低かった。土壌中の残留放射能濃度は収穫時にはやや増加し、種  
35 子から[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシソニルが徐々に土壌中へ浸出することが想定された。  
36 （参照 2、15）

37 [参照 添付 5-55]

1

表 4 稲体各部及び土壌の残留放射能濃度 (mg/kg)

|           | 植物体全体 | 茎      | 籾殻    | 穀粒     | 土壌     |
|-----------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 播種 38 日後  | 0.004 | -      | -     | -      | <0.001 |
| 播種 152 日後 | -     | <0.002 | 0.002 | <0.002 | 0.005  |

2

## 3 (2) 小麦

4 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを約 15 g ai/ha の用量で春小麦（品種不明）の種子  
5 に粉衣処理した後、ビーカーに播種して温室栽培、一部は圃場に播種して栽培し、  
6 温室栽培した植物は播種 11～53 日後に、圃場栽培した植物は播種 48 日後（出  
7 穂期）、83 日後（乳熟期）及び 106 日後（登熟期）に植物試料を採取して、植物  
8 体内運命試験が実施された。また、植物試料採取時に土壌試料（深さ 30 cm）が  
9 採取された。さらに、無処理種子を播種し、1 カ月間温室で栽培した後、[pyr-<sup>14</sup>C]  
10 フルジオキシニルを 1 本あたり 2 µL（160 µg）の割合で土壌表面から約 10 cm  
11 離れた茎に注入し、注入 69 日後に植物試料を採取した。

12 温室試験、圃場試験及び茎部注入試験における各試料の総残留放射能及び放射  
13 能分布を、それぞれ表 5、6 及び 7 に示す。

14 温室試験では、総処理放射能（TAR）の約 80%が土壌中に認められ、その大部  
15 分が親化合物であった。植物体及び土壌における非抽出性放射能は、処理後時間  
16 の経過とともに増加した。

17 圃場試験における収穫時の植物体各部の総残留放射能濃度は極めて低く  
18 （0.003～0.015 mg/kg）、代謝物の同定が困難であったため、茎部注入試料を用  
19 いて代謝物の同定が行われた。その結果、各部の残留放射能の主要成分は親化合  
20 物であり、茎葉で 49.2%TRR、籾殻で 48.6%TRR、穀粒で 35.5%TRR 検出され  
21 た。各試料に代謝物として G、H、I、J 及び K が少量（0.3～2.5%TRR）認めら  
22 れ、茎葉からは代謝物 P が同定された。

23 主要代謝経路は、①ピロール環の酸化による G、P、H の生成、②ピロール環  
24 の開裂による I、J、K の生成であると推定された。（参照 2、15）

25 [参照 添付 5-56、5-57]

表 5 温室試験における各試料の総残留放射能及び放射能分布

| 試料       |    | 総残留放射能 |      | 親化合物   | 抽出性放射能 | 非抽出性放射能 |
|----------|----|--------|------|--------|--------|---------|
|          |    | mg/kg  | %TAR | mg/kg  | %TRR   | %TRR    |
| 播種 11 日後 | 茎葉 | 0.315  | 0.9  | 0.005  | 96.4   | 3.6     |
|          | 根部 | 8.643  | 22.6 | 2.850  | 86.3   | 13.7    |
|          | 土壌 | 0.015  | 78.2 | 0.013  | 96.7   | 3.3     |
| 播種 53 日後 | 茎葉 | 0.056  | 3.1  | <0.001 | 77.7   | 22.3    |
|          | 根部 | 1.947  | 13.0 | 0.203  | 32.2   | 67.8    |
|          | 土壌 | 0.016  | 82.6 | 0.010  | 83.0   | 17.0    |

26

27

1

表 6 圃場試験における各試料の総残留放射能及び放射能分布

| 試料        |          | 総残留放射能 | 親化合物  | 抽出性放射能 | 非抽出性放射能 |
|-----------|----------|--------|-------|--------|---------|
|           |          | mg/kg  | mg/kg | %TRR   | %TRR    |
| 播種 48 日後  | 茎葉       | 0.005  | NA    | 80.0   | 35.5    |
|           | 土壌 (上層部) | 0.035  | 0.017 | 69.7   | 29.4    |
| 播種 106 日後 | 茎葉       | 0.015  | NA    | 54.7   | 63.9    |
|           | 籾殻       | 0.005  | NA    | NA     | NA      |
|           | 穀粒       | 0.003  | NA    | NA     | NA      |
|           | 土壌 (上層部) | 0.048  | 0.017 | 59.2   | 43.1    |

2 NA:分析せず

3

表 7 茎部注入試験における各試料の総残留放射能及び放射能分布

| 試料       |    | 総残留放射能 | 親化合物  | 抽出性放射能 | 非抽出性放射能 |
|----------|----|--------|-------|--------|---------|
|          |    | mg/kg  | mg/kg | %TRR   | %TRR    |
| 注入 69 日後 | 穀粒 | 0.463  | 0.193 | 80.0   | 19.9    |
|          | 籾殻 | 8.810  | 4.20  | 90.0   | 10.0    |
|          | 茎葉 | 75.5   | 41.2  | 85.3   | 14.7    |

4

## 5 (3) ぶどう

6 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを 500 g ai/ha の用量で、野外のぶどう (品種不明)  
7 に 3 週間おきに 3 回散布し、最終散布 0.5 時間、14 及び 35 日後 (成熟期) に、  
8 葉及び果実試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。果実の一部は搾汁  
9 し、果汁の一部はワインに加工した。各植物試料採取時には、土壌試料を採取し  
10 た。

11 最終散布 35 日後における植物体各部の総残留放射能濃度は、葉で 5.24 mg/kg、  
12 果実全体で 2.79 mg/kg であった。土壌中の残留放射能濃度は、0~5 cm 層で 0.796  
13 mg/kg、5~10 cm 層で 0.09 mg/kg、10~20 cm 層で 0.02 mg/kg であった。各試  
14 料の残留放射能の主要成分は親化合物であり、果実全体で 70%TRR、葉で  
15 69%TRR、土壌で 53~70%TRR 検出された。ワイン中の総残留放射能濃度は  
16 0.432 mg/kg であり、79%TRR が親化合物であった。

17 収穫時の果実中に代謝物として G、H、I、L、M 及び N が少量 (0.2~1.7%TRR)  
18 認められた。主要代謝経路は、①ピロール環の酸化による G、P 及び H の生成、  
19 ②ピロール環の開裂による M 及び I の生成、③G のピロール環の還元及びその後  
20 の酸化による L の生成、④グルコース抱合による N の生成であると推定された。  
21 (参照 2、15)

22 [参照 添付 5-58、5-59]

## 23 (4) トマト

24 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを 750 g ai/ha の用量で、トマト (品種不明) に 2

1 週間おきに3回散布し、1回目散布直後(0日後)、3回目散布直後(1回目散布  
2 28日後)及び1回目散布68日後(収穫時)に、果実及び葉を採取して、植物体  
3 内運命試験が実施された。

4 収穫時における総残留放射能濃度は、果実で0.279 mg/kg、葉で7.060 mg/kg  
5 であった。果実及び葉における主要残留成分は親化合物であり、それぞれ  
6 73.2%TRR (0.204 mg/kg) 及び68.8%TRR (4.86 mg/kg) 検出された。収穫時  
7 の果実中に、代謝物G、H、L及びMが少量(0.3~1.6%TRR)認められた。(参  
8 照2、15)

9 [参照 添付5-60]

#### 10 (5) たまねぎ

11 [phe-<sup>14</sup>C]フルジオキサニルを1,120 g ai/ha (慣行量) または5,580 g ai/ha (5  
12 倍量) の用量で、たまねぎ(品種不明)に14日間隔で2回茎葉散布し、各散布  
13 2時間後、2回目散布7日(早期)、14日(成熟期)及び28日(遅延期)後に  
14 試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

15 慣行施用区では、早期、成熟期及び遅延期における試料中の総残留放射能濃度  
16 は、それぞれ1.80、1.57及び0.976 mg/kgであり、そのうち親化合物がそれぞ  
17 れ38.4、36.6及び12%TRR検出された。5倍量散布区では、親化合物の代謝が  
18 やや遅かった。代謝物としてI、K、P、R、T及びP15が少量(0.5~7.9%TRR)  
19 認められた。主要代謝経路は、①ピロール環の酸化によるP及びP15の生成、  
20 ②Pのピロール環のエポキシ化及び加水分解によるRの生成、③Pの一部からの  
21 Tの生成、④R及びPの酸化開裂によるIを経たKの生成であると推定された。  
22 (参照2、15)

23 [参照 添付5-61]

#### 24 (6) もも

25 もも(品種: Reliance または Tra-Zee)の木に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキサニル  
26 840 g ai/ha (1倍量)の用量を3回に分けて、またはその10倍量を1回もしく  
27 は2回散布し、最終散布28または114日後に果実及び葉を採取して、植物体内  
28 運命試験が実施された。

29 各試料の総残留放射能濃度は、1倍量散布区の最終散布28日後の成熟果実で  
30 0.083 mg/kg、成熟葉で3.52 mg/kg、10倍量1回散布区では、最終散布28日後  
31 の成熟果実で0.977 mg/kg、成熟葉で45.8 mg/kg、10倍量2回散布区では、最  
32 終散布114日後の成熟果実で0.255 mg/kg、成熟葉で37.7 mg/kgであった。

33 成熟果実における主要残留成分は親化合物であり、1倍量散布区で22%TRR、  
34 10倍量散布区では35.6~61.6%TRR検出された。主要代謝物はグルコース抱合  
35 体(3.7~11.0%TRR)で、他にT(0.8~3.7%TRR)、R(2.3~5.6%TRR)、I  
36 及びP15(合わせて3.7%TRR)が認められた。成熟葉でも果実試料でみられた  
37 ものと同様の代謝物が認められた。主要代謝経路は、①ピロール環の酸化及びグ  
38 ルコース抱合によるQの生成、②ピロール環の酸化によるG及びPの生成、③

1 P の還元による S の生成、④S の加水分解及びピロール環の開裂による T の生  
2 成、⑤P のエポキシ化及び加水分解による R の生成、⑥開裂したピロール環代  
3 謝物 R 及び T の酸化開裂による I を経た K の生成であると推察された。(参照 2、  
4 15)

5 [参照 添付 5-62]

### 6 3. 土壤中運命試験

#### 7 (1) 好氣的土壤中運命試験①

8 [phe-<sup>14</sup>C]フルジオキソニルを、埴壤土 (スイス、Les Evouettes) に 0.2、0.4  
9 または 0.8 mg/kg となるように処理し、暗条件下、20±2°C で 363 日間インキュ  
10 ベートし、好氣的土壤中運命試験が実施された。

11 各処理区の処理 363 日後の土壤における放射能分布及び推定半減期は表 8 に示  
12 されている。

13 抽出性放射能は、試験開始時の 102~106%TAR から処理 363 日後には 30~  
14 43%TAR へと減少し、非抽出性放射能は 0.6~1.0%TAR から 24~27%TAR へと  
15 増加した。未同定抽出物のうち、単一画分の最大値は、0.2、0.4 及び 0.8 mg/kg  
16 処理区でそれぞれ 2.57、4.83、3.00%TAR であった。主要代謝物は CO<sub>2</sub> であり、  
17 処理 363 日後に 32.4~44.9%TAR 検出されたが、CO<sub>2</sub> 以外の揮発性放射能は認  
18 められなかった。(参照 2)

19 [添付なし]

表 8 各処理区の処理 363 日後の土壤における放射能分布及び推定半減期

|                        | 0.2 mg/kg 処理区 | 0.4 mg/kg 処理区 | 0.8 mg/kg 処理区 |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 親化合物 (%TAR)            | 29.0          | 41.6          | 31.2          |
| CO <sub>2</sub> (%TAR) | 44.9          | 32.4          | 38.6          |
| 未同定抽出物 (%TAR)          | 1.36          | 1.89          | 1.88          |
| 非抽出物 (%TAR)            | 26.5          | 24.7          | 26.3          |
| 推定半減期                  | 143 日         | 220 日         | 183 日         |

#### 20 (2) 好氣的土壤中運命試験②

21 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキソニルを、砂壤土 (スイス、Stein) に 0.2 mg/kg となる  
22 ように処理し、暗条件下、20±2°C または 30±2°C で 84 日間インキュベートし、  
23 好氣的土壤中運命試験が実施された。

24 処理 84 日後の各条件下の土壤における放射能分布及び推定半減期は表 9 に示  
25 されている。

26 抽出性放射能は、試験開始時の 98%TAR から処理 84 日後には 52~69%TAR  
27 へと減少し、非抽出性放射能は 0.5%TAR から 18~29%TAR へと増加した。未  
28 同定抽出物のうち、単一画分の最大値は 2.3~2.7%TAR であった。CO<sub>2</sub> 以外の  
29 揮発性放射能は認められなかった。(参照 2)

30 [添付なし]



表 9 処理 84 日後の各温度条件下の土壌における放射能分布及び推定半減期

|                        | 20℃   | 30℃  |
|------------------------|-------|------|
| 親化合物 (%TAR)            | 65.4  | 46.6 |
| CO <sub>2</sub> (%TAR) | 11.1  | 16.1 |
| 未同定抽出物 (%TAR)          | 4.0   | 5.3  |
| 非抽出物 (%TAR)            | 18.0  | 28.6 |
| 推定半減期                  | 151 日 | 79 日 |

2

## 3 (3) 好氣的及び好気/嫌氣的土壌中運命試験

4 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを、砂壤土 (スイス、Stein) に 0.2 mg/kg となる  
5 ように処理し、好気試験では 364 日間好氣的条件で、好気/嫌気試験では 28 日間  
6 の好氣的条件後 62 日間嫌氣的条件でインキュベートした。インキュベーション  
7 は、20±2℃の暗条件で行った。

8 処理 90 日後の土壌における放射能分布及び推定半減期は表 10 に示されている。

9 未同定抽出物のうち、単一画分の最大値は好氣的条件下で 2.6%TAR であった。  
10 CO<sub>2</sub> 以外の揮発性放射能は認められなかった。嫌氣的条件下では、好氣的条件と  
11 比較して親化合物の分解が遅かった。(参照 2)

12

[添付なし]

表 10 処理 90 日後の土壌における放射能分布及び推定半減期

|                        | 好氣的土壌 | 好気/嫌氣的土壌 |
|------------------------|-------|----------|
| 親化合物 (%TAR)            | 77.0  | 84.8     |
| CO <sub>2</sub> (%TAR) | 8.4   | 2.9      |
| 未同定抽出物 (%TAR)          | 2.3   | 2.9      |
| 非抽出物 (%TAR)            | 13.4  | 11.8     |
| 推定半減期                  | 313 日 | -        |

13

## 14 (4) 土壌吸着試験

15 4 種類の国内土壌 [軽埴土 (福島)、砂壤土 (宮崎)、砂質埴壤土 (愛知)、シル  
16 ト質埴壤土 (熊本) ] を用いて、土壌吸着試験が実施された。

17 Freundlich の吸着係数  $K_{ads}$  は 21.9~475 であり、有機炭素含有率により補正  
18 した吸着係数  $K_{oc}$  は 1,470~3,680 であった。(参照 2)

19

[添付なし]

## 20 4. 水中運命試験

## 21 (1) 加水分解試験

22 [pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを、pH 5.0 (酢酸緩衝液)、pH 7.0 (オルトデヒド  
23 ロリン酸緩衝液) 及び pH 9.0 (ホウ酸緩衝液) の各緩衝液に、約 1 mg/L となる  
24 ように添加し、25℃で 30 日間インキュベートして、加水分解試験が実施された。

25 25℃、pH 5~9 の各緩衝液中で、フルジオキシニルは 30 日間安定であった。  
26 (参照 2、15)

[参照 添付 5-63]

## (2) 水中光分解試験

### ① 蒸留水及び自然水中光分解試験

滅菌蒸留水及び自然水(pH 7.1の河川水:埼玉)に、フルジオキシニルを1 mg/Lとなるように添加した後、25°Cで168時間キセノンランプ(紫外部:光強度50 W/m<sup>2</sup>、波長300~400 nm、紫外・可視全体:光強度950 W/m<sup>2</sup>、波長300~800 nm)を照射して、水中光分解試験が実施された。

滅菌蒸留水及び自然水中で、照射168時間後のフルジオキシニルの濃度は、それぞれ0.16及び0.039 mg/L、推定半減期は、それぞれ69及び39日と算出された。(参照2、15)

[参照 添付 5-64]

### ② 滅菌緩衝液中光分解試験 ([phe-<sup>14</sup>C]フルジオキシニル)

高純度水を用いた pH 7 の滅菌緩衝液に、[phe-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを 0.5 mg/L となるように添加した後、24.4~25.5°Cで30日間キセノンランプ(光強度:18.9 W/m<sup>2</sup>、波長290~400 nm)を照射して、水中光分解試験が実施された。

親化合物は経時的に減少し、照射30日後には認められなかった。主要分解物としてR、S及びTがそれぞれ最大10.4(照射6日後)、5.3(照射6日後)及び5.3% TAR(照射13日後)検出された。CO<sub>2</sub>は経時的に増加し、照射30日後には約20% TARに達し、分解物は最終的には無機化されることが示された。推定半減期は3.51日(東京春季自然太陽光換算:約8.54日)と算出された。(参照2、15)

[参照 添付 5-65]

### ③ 滅菌緩衝液中光分解試験 ([pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニル)

蒸留水を用いた pH 7 の滅菌緩衝液に、[pyr-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを1 mg/Lとなるように添加した後、25±1°Cで7日間キセノンランプ(光強度:140 W/m<sup>2</sup>、波長300~400 nm)を照射して、水中光分解試験が実施された。

親化合物は経時的に減少(照射7日後で12.5% TAR)し、分解物が漸増した。主要分解物としてR、S及びTが、照射7日後にそれぞれ15.1、7.3及び12.4% TAR検出された。CO<sub>2</sub>は照射7日後で約5% TAR検出された。推定半減期は1.99日(東京春季自然太陽光換算:約35.9日)と算出された。(参照2、15)

[参照 添付 5-66]

### ④ 滅菌自然水中光分解試験

pH 8.03の滅菌自然水(池水:スイス)に、[phe-<sup>14</sup>C]フルジオキシニルを0.89 mg/Lとなるように添加した後、24.4°Cで22日間キセノンランプ(光強度:29.1 W/m<sup>2</sup>、波長300~400 nm)を照射して、水中光分解試験が実施された。

親化合物は照射7日後で0.7% TARにまで減少した。主要分解物としてR、K及びIがそれぞれ最大32.6(照射1日後)、8.3(照射2日後)及び4.6% TAR(照射18日)検出された。照射22日後には、分解物Rは9.1% TARに減少し、CO<sub>2</sub>

1 が約 28%TAR 検出された。推定半減期は 0.705 日（東京春季自然太陽光換算：  
 2 約 2.63 日）と算出された。自然水中の推定分解経路は、ピロール環のエポキシ  
 3 化及び加水分解による R の生成であり、その後 I から K へと分解すると考えら  
 4 れた。（参照 2、15）

5 [参照 添付 5-67]

## 6 5. 土壤残留試験

7 沖積・埴壤土（新潟）、火山灰・埴壤土（栃木①、鳥取②）、洪積・埴壤土（和歌  
 8 山）沖積・埴壤土（新潟）を用いて、フルジオキシニルを分析対象化合物とした土  
 9 壌残留試験（容器内及び圃場）が実施された。結果は表 11 に示されている。（参照  
 10 2）

11 [添付なし]

表 11 土壤残留試験成績（推定半減期）

| 試験    |       | 濃度 <sup>1)</sup> | 土壌       | フルジオキシニル |
|-------|-------|------------------|----------|----------|
| 容器内試験 | 湛水状態  | 0.1 mg/kg        | 沖積・埴壤土   | 181 日    |
|       |       |                  | 火山灰・埴壤土① | 46 日     |
|       | 畑水分状態 | 0.6 mg/kg        | 火山灰・埴壤土② | 87.5 日   |
|       |       |                  | 洪積・埴壤土   | 84.3 日   |
| 圃場試験  | 水田状態  | 100 g ai/ha      | 沖積・埴壤土   | 2.0 日    |
|       |       |                  | 火山灰・埴壤土① | 11.2 日   |
|       | 畑地状態  | 60 g ai/ha<br>×5 | 火山灰・埴壤土② | 36.7 日   |
|       |       |                  | 洪積・埴壤土   | 59.6 日   |

12 <sup>1)</sup>：容器内試験では純品、圃場試験の水田状態では 50%水和剤、畑地状態では 20%フロアブル剤使用  
 13

## 14 6. 作物残留試験

15 水稻、いんげん、キャベツ等を用いて、フルジオキシニルを分析対象化合物とし  
 16 た作物残留試験が実施された。

17 結果は別紙 3 及び 4 に示されている。フルジオキシニルの最大残留値は、農薬と  
 18 しては散布 3 日後に収穫したにら（茎葉）で認められた 4.92 mg/kg であった。添  
 19 加物としては処理当日にキウイフルーツで認められた 13.9 mg/kg であった。（参照  
 20 2、15）

21 [参照 添付 6-1~6-15]

## 23 7. 一般薬理試験

24 フルジオキシニルのラット、マウス等を用いた一般薬理試験が実施された。結果  
 25 は表 12 に示されている。（参照 2、15）

26 [参照 添付 5-33]

表 12 一般薬理試験

| 試験の種類   |                                      | 動物種              | 動物数<br>/群  | 投与量<br>(mg/kg 体重)<br>(投与経路)   | 最大無作用量<br>(mg/kg 体重)         | 最小作用量<br>(mg/kg 体重)          | 結果の概要   |
|---------|--------------------------------------|------------------|------------|---|------------------------------|------------------------------|---|
| 中枢神経系   | 一般状態<br>(Irwin 法)                    | ICR<br>マウス       | 雄 12       | 0、300、1,000、<br>3,000<br>(経口) <sup>1)</sup>   | 300                          | 1,000                        | 1,000 mg/kg 体重で、グルーミング回数減少、触反応低下、とんぼかえり試験の着地失敗、握力低下、散瞳。3,000 mg/kg 体重で、さらに視認性低下、受動性低下、反応性低下、やや弛緩状態の体姿勢または正向反射消失、歩行異常、四肢筋の緊張低下、呼吸数増加、疼痛反応低下、振戦 |
|         | 運動強調性筋弛緩作用<br>(Rotarod 法)            | ICR<br>マウス       | 雄 11       | 0、300、1,000、<br>3,000<br>(経口) <sup>1)</sup>   | 1,000                        | 3,000                        | 落下動物数増加   |
|         | 運動強調性筋弛緩作用<br>(斜板法)                  | ICR<br>マウス       | 雄 11       | 0、300、1,000、<br>3,000、10,000<br>(経口) <sup>1)</sup>  | 3,000                        | 10,000                       | 落下動物数増加   |
|         | 睡眠延長作用                               | ICR<br>マウス       | 雄 12       | 0、30、100、300<br>(経口) <sup>1)</sup>  | 100                          | 300                          | 睡眠時間延長  |
|         | 体温                                   | Wistar<br>ラット    | 雄 8        | 0、300、1,000、<br>3,000<br>(経口) <sup>1)</sup>   | 1,000                        | 3,000                        | 0.6～1.4℃の体温下降   |
| 呼吸・循環器系 | 呼吸数、心電図、心拍数、血圧、血流量、ACh 及び NA による血圧反応 | ビーグル犬            | 雄 3        | 0、5,000<br>(腹腔内) <sup>2)</sup>  | 1,000 <sup>3)</sup>          | 5,000                        | 高用量で呼吸振幅減少傾向、ACh による降圧反応を抑制   |
| 自律神経系   | 摘出回腸<br>(マグヌス法)                      | Hartley<br>モルモット | 雄 4        | $1 \times 10^{-6}$ 、 $1 \times 10^{-5}$ 、<br>$1 \times 10^{-4}$ 、 $1 \times 10^{-3}$<br>(g/mL)<br>( <i>in vitro</i> ) | $1 \times 10^{-5}$<br>(g/mL) | $1 \times 10^{-4}$<br>(g/mL) | $1 \times 10^{-4}$ g/mL 以上で His による収縮を抑制  |
| 消化器系    | 腸管輸送能                                | ICR<br>マウス       | 雄<br>11～12 | 0、300、1,000、<br>3,000、10,000<br>(経口) <sup>1)</sup>  | 3,000                        | 10,000                       | 40%の抑制  |

| 試験の種類 |       | 動物種           | 動物数<br>/群 | 投与量<br>(mg/kg 体重)<br>(投与経路)                           | 最大無作用量<br>(mg/kg 体重) | 最小作用量<br>(mg/kg 体重) | 結果の概要   |
|-------|-------|---------------|-----------|---|----------------------|---------------------|---------|
| 血液    | 血液凝固能 | Wistar<br>ラット | 雄 7~8     | 0, 300, 1,000,<br>3,000, 10,000<br>(経口) <sup>1)</sup> | 3,000                | 10,000              | APTT 短縮 |

1 <sup>1)</sup>: 溶媒として 0.5%CMC 水溶液を使用、<sup>2)</sup>: 溶媒として 0.5%CMC 生理食塩液を使用、

2 <sup>3)</sup>: 予備試験の結果より引用

3

## 4 8. 急性毒性試験

5 フルジオキソニル (原体)、フルジオキソニルの代謝物 (I、K、P、S)、分解物  
6 (R) 及び原体混在物 (U、V、W) のラットまたはマウスを用いた急性毒性試験  
7 が実施された。結果は表 13 及び 14 に示されている。(参照 2、15)

8

表 13 急性毒性試験概要 (原体) [参照 添付 5-1~5-4]

| 投与経路 | 動物種                     | LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重) |        | 観察された症状                    |
|------|-------------------------|-----------------------------|--------|----------------------------|
|      |                         | 雄                           | 雌      |                            |
| 経口   | SD ラット<br>雌雄各 5 匹       | >5,000                      | >5,000 | 軟便                         |
|      | ICR マウス<br>雌雄各 5 匹      | >5,000                      | >5,000 | 軟便                         |
| 経皮   | Tif:RAIf ラット<br>雌雄各 5 匹 | >2,000                      | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、<br>呼吸困難、体重増加抑制 |
| 吸入   | Tif:RAIf ラット<br>雌雄各 5 匹 | LC <sub>50</sub> (mg/L)     |        | 立毛、うずくまり姿勢、<br>呼吸困難、体重増加抑制 |
|      |                         | >2.64                       | >2.64  |                            |

9

表 14 急性毒性試験概要 (代謝物、分解物及び原体混在物) [参照 添付 5-34~5-41]

| 被験物質 | 投与経路 | 動物種                           | LD <sub>50</sub> (mg/kg 体重) |        | 観察された症状  |
|------|------|-------------------------------|-----------------------------|--------|--|
|      |      |                               | 雄                           | 雌      |  |
| I    | 経口   | Tif:RAI ラット<br>雌 5 匹          | /                           | 1,140  | 立毛、うずくまり姿勢、<br>呼吸困難、自発運動低下、<br>運動失調、振戦、開口障害        |
| K    | 経口   | Tif:RAI ラット<br>雌雄各 5 匹        | >2,000                      | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、<br>呼吸困難、下痢                             |
| P    | 経口   | Tif:RAI ラット<br>雌雄各 5 匹        | >2,000                      | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、<br>呼吸困難、自発運動低下、<br>呼吸雑音、チアノーゼ、<br>腹部膨満 |
| S    | 経口   | Tif:RAIf ラット<br>雌雄各 5 匹       | >2,000                      | >2,000 | 立毛、円背位、呼吸困難、<br>自発運動低下、                            |
| R    | 経口   | Hanlbm:WIST<br>ラット<br>雌雄各 5 匹 | >2,000                      | >2,000 | 円背位、自発運動低下、<br>筋緊張低下、立毛<br>体温低下、眼瞼下垂、              |

|   |    |                        |        |        |                        |
|---|----|------------------------|--------|--------|------------------------|
| U | 経口 | Tif·RAI ラット<br>雌雄各 5 匹 | >2,000 | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、呼吸困難        |
| V | 経口 | Tif·RAI ラット<br>雌雄各 5 匹 | >2,000 | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、呼吸困難、自発運動低下 |
| W | 経口 | Tif·RAI ラット<br>雌雄各 5 匹 | >2,000 | >2,000 | 立毛、うずくまり姿勢、呼吸困難、自発運動低下 |

## 9. 眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

NZW ウサギを用いた眼刺激性試験及び皮膚刺激性試験が実施された。その結果、適用 1 時間後でウサギの結膜に軽度の発赤及び浮腫が認められたが、48 時間後には消失し、眼に対して刺激性はないものと考えられた。皮膚においてもパッチ除去 1 時間後で軽度の紅斑及び浮腫が認められたが、浮腫は 24 時間後に、紅斑は 72 時間後に消失し、皮膚に対する刺激性はないものと考えられた。(参照 2、15)

[参照 添付 5-5~5-7]

Pirbright White モルモットを用いた皮膚感作性試験が実施され、Maximization 法で感作性は陰性であった。(参照 2、15)

[参照 添付 5-8]

## 10. 亜急性毒性試験

### (1) 90 日間亜急性毒性試験 (ラット)

SD ラット (一群雌雄各 10 匹) を用いた混餌 (原体 : 0、10、100、1,000、7,000 及び 20,000 ppm) 投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 15 に示されている。

7,000 ppm 以上投与群の雌雄で、変色尿 (琥珀色、褐色、青色または緑色) 及び尾、骨盤周囲、胃粘膜、腎臓等に青色色素沈着が観察された。動物体内運命試験における尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]から、この色素はフルジオキソニルの二量体であることが確認されており、病理組織学的検査では、対応する組織に色素沈着を裏付ける所見は認められなかったことから、本試験で認められた青色色素沈着は毒性学的に意義のないものと考えられた。1,000 及び 7,000 ppm 投与群の雄で観察された小葉中心性肝細胞肥大は、その発現頻度に有意差はみられなかったことから毒性影響とは考えられなかった。また、1,000 ppm 投与群の雌で観察された食餌効率の低下は、投与初期に一過性に観察されたことから毒性影響とは考えられなかった。

本試験において、7,000 ppm 以上投与群の雄で慢性腎症等が、雌で体重増加抑制、小葉中心性肝細胞肥大等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 1,000 ppm (雄 : 64 mg/kg 体重/日、雌 : 70 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 2 ~7、9、15)

[参照 添付 5-10]

表 15 90 日間亜急性毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

| 投与群          | 雄   | 雌  |
|--------------|---|--|
| 20,000 ppm   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 摂餌量減少</li> <li>・ 食餌効率低下</li> <li>・ BUN、GGT 増加</li> <li>・ Glu 減少</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ht、MCV、MCH 減少</li> <li>・ BUN、T.Bil、GGT、ALP 増加</li> <li>・ Glu 減少</li> <li>・ 肝対脳重比<sup>1</sup>増加</li> <li>・ 腎臓：慢性腎症、慢性活動性炎症</li> </ul>  |
| 7,000 ppm 以上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T.Bil、T.Chol 増加</li> <li>・ 尿中ビリルビン陽性</li> <li>・ 肝比重量<sup>2</sup>増加</li> <li>・ 腎臓：慢性腎症、慢性活動性炎症</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 摂餌量減少</li> <li>・ Hb 減少</li> <li>・ T.Chol 増加</li> <li>・ 5'ヌクレオチダーゼ減少</li> <li>・ 蓄積尿量減少</li> <li>・ 尿中ビリルビン陽性</li> <li>・ 肝比重量増加</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul> |
| 1,000 ppm 以下 | 毒性所見なし  | 毒性所見なし   |

2

## 3 (2) 90 日間亜急性毒性試験（マウス）

4 ICR マウス（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、10、100、1,000、  
5 3,000 及び 7,000 ppm）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

6 各投与群で認められた毒性所見は表 16 に示されている。

7 1,000 ppm 以上投与群の雄で、変色尿（緑色、青色、褐色）及び骨盤周囲の青  
8 色色素沈着が、7,000 ppm 投与群の雌雄で胃粘膜及び腎臓に青色色素沈着が認め  
9 られた。動物体内運命試験における尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]から、こ  
10 の色素はフルジオキソニルの二量体であることが確認されており、病理組織学的  
11 検査では、対応する組織に色素沈着を裏付ける所見は認められなかったことから、  
12 本試験で認められた青色色素沈着は毒性学的に意義のないものと考えられた。  
13 3,000 ppm 投与群の雌に観察された肝比重量増加は、関連する血液生化学的変化  
14 を伴わないことから毒性影響とは考えられなかった。

15 本試験において、7,000 ppm 投与群の雌雄で尿細管腎症等が認められたので、  
16 無毒性量は雌雄とも 3,000 ppm（445 mg/kg 体重/日、雌：559mg/kg 体重/日）  
17 であると考えられた。（参照 2～7、9、15）

18 [参照 添付 5-11]

19

20

21

<sup>1</sup> 脳重量に比した重量を対脳重比という（以下同じ）。

<sup>2</sup> 体重比重量を比重量という（以下同じ）。

1

表 16 90 日間亜急性毒性試験（マウス）で認められた毒性所見

| 投与群          | 雄   | 雌  |
|--------------|---|--|
| 7,000 ppm    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5'ヌクレオチダーゼ上昇</li> <li>・ 肝比重量、対脳重量比増加</li> <li>・ 尿細管腎症</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 5'ヌクレオチダーゼ上昇</li> <li>・ 肝絶対及び比重量、対脳重量比増加</li> <li>・ 胸腺絶対重量及び対脳重量比減少</li> <li>・ 尿細管腎症</li> <li>・ 小葉中心性肝細胞肥大</li> </ul> |
| 3,000 ppm 以下 | 毒性所見なし  | 毒性所見なし   |

2

## 3 (3) 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）

4 ビーグル犬（一群雌雄各 4～6 匹）を用いた混餌（原体：0、200、2,000 及び  
5 15,000/10,000 ppm）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。15,000  
6 ppm 投与群では、顕著な体重及び摂餌量の減少がみられたため、投与 18 日に投  
7 与量を 10,000 ppm に下げ、試験終了時まで投与した。対照群及び高用量投与群  
8 の雌雄各 2 匹は、投与期間終了後 4 週間の回復試験に供した。

9 各投与群で認められた毒性所見は表 17 に示されている。

10 2,000 及び 15,000/10,000 ppm 投与群の雌雄に、糞の青色化及び腸粘膜に緑色  
11 内容物が観察された。しかし、関連した病理組織学的所見は認められず、回復試  
12 験では全く認められないことから、これは腸内に残存しているフルジオキサニル  
13 及びその代謝物によるものと考えられた。高用量投与群で認められた毒性所見に  
14 は、いずれも回復傾向がみられた。

15 本試験において、2,000 ppm 以上投与群の雌雄で下痢が認められたので、無毒  
16 性量は雌雄とも 200 ppm (6.2 mg/kg 体重/日) であると考えられた。(参照 2、4  
17 ～9、15)

18 [参照 添付 5-11]

表 17 90 日間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

| 投与群               | 雄  | 雌   |
|-------------------|--|---|
| 15,000/10,000 ppm | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> <li>・ 胆管増生程度増強</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ RBC、Hb、Ht 減少</li> <li>・ T.Chol 増加</li> <li>・ 肝絶対及び比重量増加</li> </ul> |
| 2,000 ppm 以上      | ・ 下痢   | ・ 下痢  |
| 200 ppm           | 毒性所見なし   | 毒性所見なし  |

19

## 20 1 1. 慢性毒性試験及び発がん性試験

## 21 (1) 1 年間慢性毒性試験（イヌ）

22 ビーグル犬（一群雌雄各 4 匹）を用いた混餌（原体：0、100、1,000 及び 8,000  
23 ppm）投与による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

24 各投与群で認められた毒性所見は表 18 に示されている。



1 1,000 及び 8,000 ppm 投与群の雌雄全例に、糞の青色化が観察されたが、これ  
 2 は検体及びその代謝物が腸内に存在していることと関連しており、毒性学的意義  
 3 のないものと考えられた。

4 1,000 ppm 投与群の雌において体重増加抑制傾向がみられたが、これは 1 個体  
 5 の体重減少によるものであった。8,000 ppm 投与群の雌では、4 匹中 3 例で体重  
 6 増加抑制が認められたが、1 例では体重は増加していた。また、いずれの個体に  
 7 おいても持続的な体重減少は認められなかった。したがって、1,000 ppm 投与群  
 8 の雌にみられた体重減少は投与による毒性影響ではないと考えられた。

9 本試験において、8,000 ppm 投与群の雌雄で体重増加抑制等が認められたので、  
 10 無毒性量は雌雄で 1,000 ppm (雄：33.1 mg/kg 体重/日、雌：35.5 mg/kg 体重/  
 11 日) であると考えられた。(参照 2、3、9、15)

12 [参照 添付 5-14：農薬専門調査会での ADI 設定根拠試験]

表 18 1 年間慢性毒性試験 (イヌ) で認められた毒性所見

| 投与群          | 雄   | 雌   |
|--------------|---|---|
| 8,000 ppm    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ T.Chol 増加</li> <li>・ 肝比重量増加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ 肝比重量増加</li> <li>・ 肝肥大</li> </ul> |
| 1,000 ppm 以下 | 毒性所見なし  | 毒性所見なし  |

13  
 14 (2) 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験 (ラット)

15 SD ラット (一群雌雄各 60~70 匹) を用いた混餌 (原体：0、10、30、100、  
 16 1,000 及び 3,000 ppm) 投与による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験が実施さ  
 17 れた。

18 各投与群で認められた毒性所見は表 19 に示されている。

19 1,000 ppm 以上投与群の雄に暗色糞便、青色尿及び体表の青色着色が、3,000  
 20 ppm 投与群の雌に尾及び骨盤部の青色着色が観察されたが、動物体内運命試験  
 21 における尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]から、この色素はフルジオキソニ  
 22 ルの二量体であることが確認されており、毒性学的意義のないものと考えられた。

23 本試験において、3,000 ppm 投与群の雌雄で体重増加抑制等が認められたので、  
 24 無毒性量は雌雄とも 1,000 ppm (雄：37 mg/kg 体重/日、雌：44 mg/kg 体重/日)  
 25 であると考えられた。発がん性は認められなかった。(参照 2~7、15)

26 [参照 添付 5-15]

27 表 19 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験 (ラット) で認められた毒性所見

| 投与群       | 雄  | 雌  |
|-----------|--|--|
| 3,000 ppm | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下痢</li> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ ウロビリノーゲン増加</li> <li>・ 腎のう胞</li> <li>・ 慢性腎症</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体重増加抑制</li> <li>・ RBC、Hb、Ht、MCH 減少</li> <li>・ ウロビリノーゲン増加</li> </ul> |

|              |        |        |
|--------------|--------|--------|
| 1,000 ppm 以下 | 毒性所見なし | 毒性所見なし |
|--------------|--------|--------|

1  
2 **(3) 18 カ月間発がん性試験 (マウス) ①**

3 ICR マウス (一群雌雄各 60 匹) を用いた混餌 (0、10、100、1,000 及び 3,000  
4 ppm) 投与による 18 カ月間発がん性試験が実施された。

5 1,000 ppm 以上投与群の雄に青色尿及び体表の青色着色が、3,000 ppm 投与群  
6 の雌に暗色便及び骨盤部の青色着色が観察されたが、動物体内運命試験における  
7 尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]から、この色素はフルジオキシニルの二量  
8 体であることが確認されており、毒性学的意義のないものと考えられた。

9 3,000 ppm 投与群では、耳介の紅斑及び保定時の痙攣がやや高い発生率で観察  
10 されたが、対照群と比較して統計学的有意差は認められなかった。3,000 ppm 投  
11 与群の雌では、肝絶対及び比重量の有意な増加が認められたが、病理組織学的に  
12 関連した変化はみられず、毒性学的に意義のある変化とは考えられなかった。ま  
13 た、3,000 ppm 投与群の雌では、リンパ腫のわずかな発生増加 (30%) がみられ  
14 た。このリンパ腫を組織形態学的に分類して統計学的解析を行ったが、用量相関  
15 性はみられなかった。より高用量で実施された発がん性試験[11. (4)]では癌の発  
16 生増加はみられず、両試験における発生数を合わせて統計学的解析を行っても用  
17 量相関性は認められなかった。また、この発生頻度は背景データの範囲内 (13  
18 ~32%) にあった。したがって、このリンパ腫は投与に起因するものではないと  
19 考えられた。

20 本試験において、3,000 ppm 投与群の雌雄で脾臓腫大、雌で胸腺、肝臓及びリ  
21 ンパ節腫大が認められたので、無毒性量は雌雄とも 1,000 ppm (雄 : 112 mg/kg  
22 体重/日、雌 : 133 mg/kg 体重/日) であると考えられた。発がん性は認められな  
23 かった。(参照 2、3、15)

24 [参照 添付 5-16]

25 **(4) 18 カ月間発がん性試験 (マウス) ②**

26 ICR マウス (一群雌雄各 60 匹) を用いた混餌 (0、3、30、5,000 及び 7,000 ppm)  
27 投与による 18 カ月間発がん性試験が実施された。

28 各投与群で認められた毒性所見は表 20 に示されている。

29 5,000 ppm 以上投与群の雌雄に青色尿、青色便及び被毛の青色着色が認められ  
30 たが、動物体内運命試験における尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]から、こ  
31 の色素はフルジオキシニルの二量体であることが確認されており、毒性学的意義  
32 のないものと考えられた。

33 本試験におけるリンパ腫の発生数は、0、3、5,000 及び 7,000 ppm 投与群の雄  
34 でそれぞれ 3、1、2、4 及び 0 例、雌でそれぞれ 11、7、12、11 及び 8 例であ  
35 り、対照群と投与群の間で経時的相関性や用量相関性のある差異はみられなかつ  
36 た。

37 本試験において、7,000 ppm 投与群の雌雄で死亡率の上昇等が認められ、5,000

1 ppm 以上投与群の雌雄で体重増加抑制等が認められたので、最大耐量は雌雄と  
2 も 5,000 ppm であった。発がん性は認められなかった。(参照 2、3、15)

3 [参照 添付 5-17]

表 20 18 カ月間発がん性毒性試験 (マウス) ②で認められた毒性所見

| 投与群          | 雄   | 雌   |
|--------------|---|---|
| 7,000 ppm    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡率上昇</li> <li>・呼吸困難、円背姿勢、低体温、全身蒼白、活動低下、瀕死、粗毛、</li> <li>・Hb、Ht 減少</li> <li>・網状赤血球数増加</li> <li>・腎絶対及び比重量減少</li> <li>・胆管増生</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡率上昇</li> <li>・呼吸困難、円背姿勢、低体温、全身蒼白、活動低下、瀕死、粗毛、</li> <li>・Hb、Ht、RBC、MCH 減少</li> <li>・網状赤血球数増加</li> <li>・腎絶対及び比重量増加</li> <li>・脾絶対及び比重量増加</li> <li>・腎臓：慢性炎症</li> </ul> |
| 5,000 ppm 以上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・食餌効率低下</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・尿細管腎症</li> <li>・腎臓：石灰化、慢性炎症</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体重増加抑制</li> <li>・リンパ球比増加</li> <li>・分葉好中球比減少</li> <li>・肝絶対及び比重量増加</li> <li>・尿細管腎症</li> <li>・腎臓：石灰化</li> </ul>  |
| 30 ppm 以下    | 毒性所見なし  | 毒性所見なし  |

4  
5 マウスの発がん性試験①[11. (3)]及び②[11. (4)]は、同年に同系統マウスを用いて  
6 実施された試験であることから、これらを総合して評価するのが適当と考えられた。  
7 したがって、マウスの発がん性試験における無毒性量は、雌雄とも 1,000 ppm (雄：  
8 112 mg/kg 体重/日、雌：133 mg/kg 体重/日) であると考えられた。

## 9 12. 生殖発生毒性試験

### 10 (1) 2 世代繁殖試験 (ラット)

11 SD ラット (一群雌雄各 30 匹) を用いた混餌 (0、30、300 及び 3,000 ppm)  
12 投与による 2 世代繁殖試験が実施された。

13 3,000 ppm 投与群の P 及び F<sub>1</sub> 世代の親動物で、雄に陰茎鞘及び陰のうの変色、  
14 雌に下腹部及び膺の変色が認められた。これはフルジオキソニルの代謝物の青色  
15 物質によるものであった。動物体内運命試験における尿中青色物質の同定試験結  
16 果[1. (2)]から、この色素はフルジオキソニルの二量体であることが確認されてお  
17 り、毒性学的に意義のないものと考えられた。

18 本試験において、親動物では 3,000 ppm 投与群の P 雌及び F<sub>1</sub> 雄に体重増加抑  
19 制及び摂餌量減少が、F<sub>1</sub> 及び F<sub>2</sub> 児動物に低体重が認められたので、無毒性量は  
20 雌雄の親動物及び児動物で 300 ppm (P 雄: 18.9 mg/kg 体重/日、P 雌: 17.9 mg/kg  
21 体重/日、F<sub>1</sub> 雄: 21.1 mg/kg 体重/日、F<sub>1</sub> 雌: 22.0 mg/kg 体重/日) であると考え  
22 られた。繁殖能に対する影響は認められなかった。(参照 2~9、15)

23 [参照 添付 5-18]

1 (2) 発生毒性試験 (ラット)

2 SD ラット (一群雌 25 匹) の妊娠 6~15 日に強制経口 (原体 : 0、10、100 及び  
3 1,000 mg/kg 体重/日、溶媒 : 0.5%MC 水溶液) 投与して、発生毒性試験が実施さ  
4 れた。

5 本試験において、1,000 mg/kg 体重/日投与群の母動物に体重増加抑制及び摂餌  
6 量減少が認められたが、胎児には毒性所見は認められなかったので、無毒性量は  
7 母動物で 100 mg/kg 体重/日、胎児で 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。  
8 催奇形性は認められなかった。(参照 2、3、8、15)

9 [参照 添付 5-19]

10 (3) 発生毒性試験 (ウサギ)

11 NZW ウサギ (一群雌 16 匹) の妊娠 6~18 日に強制経口 (原体 : 0、10、100 及  
12 び 300 mg/kg 体重/日、溶媒 : 0.5%MC 水溶液) 投与して、発生毒性試験が実施  
13 された。

14 100 mg/kg 体重/日以上投与群の母動物に青色尿が観察されたが、肉眼的病理  
15 検査では異常は認められなかった。青色尿はラット及びマウスを用いた他の試験  
16 でも認められ、動物体内運命試験における尿中青色物質の同定試験結果[1. (2)]  
17 から、この色素はフルジオキソニルの二量体であることが確認されており、毒性  
18 学的に意義のないものと考えられた。

19 本試験の母動物において、300 mg/kg 体重/日投与群で体重増加抑制及び摂餌量  
20 減少が認められたが、いずれの投与群の胎児にも毒性所見は認められなかったの  
21 で、無毒性量は母動物で 100 mg/kg 体重/日、胎児で 300 mg/kg 体重/日であると  
22 考えられた。催奇形性は認められなかった。(参照 2、4~8、15)

23 [参照 添付 5-20]

24 1 3. 遺伝毒性試験

25 フルジオキソニル (原体) の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハ  
26 ムスターV79 細胞を用いた点突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣及び肺  
27 由来細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験、ラット (肝細胞) を用いた *in vitro/in*  
28 *vivo* 不定期 DNA 合成 (UDS) 試験、チャイニーズハムスター及びラット骨髓細  
29 胞を用いた *in vivo* 染色体異常試験、ラット及びマウスを用いた小核試験、マウ  
30 スを用いた優性致死試験が実施された。

31 結果は表 21 に示されている。

32 *in vitro* の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスターV79 細胞  
33 を用いた点突然変異試験及び UDS 試験の結果は陰性であった。チャイニーズハ  
34 ムスター卵巣及び肺由来培養細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験の高濃度では、  
35 代謝活性化系非存在下または非存在下で数的異常または構造異常が認められた。  
36 しかし、*in vivo* の染色体異常試験及び小核試験では陰性であった。また、その  
37 他の試験においてもすべて陰性であった。これらのことから、フルジオキソニル  
38 には生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。(参照 2、15)

表 21 遺伝毒性試験概要 (原体) [参照 添付 5-21~5-32]

| 試験                         | 対象       | 処理濃度・投与量  | 結果                                       |                    |
|----------------------------|----------|---|--|--------------------|
| in vitro                   | 復帰突然変異試験 | <i>Salmonella typhimurium</i> (TA98、TA100、TA1535、TA1537 株)<br><i>Escherichia coli</i> (WP2uvrA 株) | 20~5,000 µg/プレート (+/-S9)                 | 陰性                 |
|                            | 点突然変異試験  | チャイニーズハムスターV79 細胞   | 0.5~20 µg/mL (-S9)<br>1.5~60 µg/mL (+S9) | 陰性                 |
|                            | 染色体異常試験  | チャイニーズハムスター卵巣由来培養細胞 (CHO-CCL61)   | 10.9~43.8 µg/mL (-S9、3 時間処理)             | 構造異常：陽性            |
|                            |          |   | 2.73~10.9 µg/mL (-S9、24 時間処理)            | 数的異常：陽性            |
|                            |          |   | 5.47~350 µg/mL (+S9、3 時間処理)              | 構造異常：陽性<br>数的異常：陽性 |
|                            | 染色体異常試験  | チャイニーズハムスター肺由来培養細胞 (CHL/IU)   | 7.5~30 µg/mL (-S9、24 時間処理)               | 陰性                 |
| 3.8~15 µg/mL (-S9、48 時間処理) |          |   | 構造異常：擬陽性<br>数的異常：陽性                      |                    |
| 10~40 µg/mL (-S9、6 時間処理)   |          |   | 数的異常：陽性                                  |                    |
| 20~80 µg/mL (+S9、6 時間処理)   |          |   | 陰性                                       |                    |
| UDS 試験                     | ラット肝細胞   | 4.1~5,000 µg/mL   | 陰性                                       |                    |
| in vivo                    | 染色体異常試験  | チャイニーズハムスター (骨髄細胞) (一群雌雄各 5 匹)  | 1,250、2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)    | 陰性                 |
|                            | 染色体異常試験  | SD ラット (骨髄細胞) (一群雌雄各 5 匹)   | 1,250、2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)    | 陰性                 |
|                            | 小核試験     | Tif:RAIf ラット (肝細胞) (一群雄 3 匹)  | 1,250、2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)    | 陰性                 |
|                            | 小核試験     | Tiflbn:RAI ラット (肝細胞) (一群雄 5 匹)  | 50、250、1,250 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)         | 陰性                 |
|                            | 小核試験     | Tif:MAGF マウス (骨髄細胞) (一群雌雄各 5 匹)   | 1,250、2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)    | 陰性                 |
|                            | 優性致死試験   | Tif:MAGF マウス (一群雄 30 匹、雌 60 匹)  | 1,250、2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)    | 陰性                 |
|                            | UDS 試験   | Tif:RAIf ラット (肝細胞) (一群雄 4 匹)  | 2,500、5,000 mg/kg 体重 (単回強制経口投与)          | 陰性                 |

2 注) +/-S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

3

4 フルジオキソニルの代謝物 (I、K、P 及び S)、分解物 (R) 及び原体混在物 (U、

V、W) について、細菌を用いた復帰突然変異試験が実施された。結果は表 22 に示されているとおり、すべて陰性であった。(参照 2)

表 22 遺伝毒性試験概要 (代謝物、分解物及び原体混在物)[参照 添付 5-42~5-49]

| 被験物質    | 試験       | 対象   | 処理濃度・投与量                 | 結果 |
|---------|----------|--|--------------------------|----|
| 代謝物 I   | 復帰突然変異試験 | <i>S. typhimurium</i><br>(TA98、TA100、<br>TA1535、TA1537 株)<br><i>E. coli</i><br>(WP2uvrA 株) | 313~5,000 µg/プレート(+/-S9) | 陰性 |
| 代謝物 K   |          |  |                          | 陰性 |
| 代謝物 P   |          |  |                          | 陰性 |
| 代謝物 S   |          |  |                          | 陰性 |
| 分解物 R   |          |  |                          | 陰性 |
| 原体混在物 U |          |  |                          | 陰性 |
| 原体混在物 V |          |  | 陰性                       |    |
| 原体混在物 W |          |  | 156~2,500 µg/プレート(+/-S9) | 陰性 |

#### 14. 一日摂取量の推計等

農薬又は添加物として使用され、各農作物について基準値案上限まで本剤が残留していると仮定した場合、平成 10~12 年の国民栄養調査結果に基づき試算される一日当たりの最大摂取量(理論的 maximum 一日摂取量)は 1,424 µg であった。平成 10~12 年の国民栄養調査結果に基づく最大一日摂取量の試算の詳細は、別紙 5 に示されている。(参照 2、15)

#### 15. 耐性菌の選択

フルジオキシニルの使用により、ヒトにおいて耐性菌が選択されるリスクについて、事業者より提出された資料(参照 22)に基づき検討を行った結果は次のとおりである。

##### (1) 真菌以外の微生物(細菌等)に対する作用について

フルジオキシニルと構造的に類似するピロールニトリンについては、黄色ブドウ球菌、大腸菌及び *Mycobacterium* 属の細菌に対する抗細菌活性は非常に低いとされている。(参照 23~25)

さらにフルジオキシニルについては、細菌を用いた復帰突然変異試験において 5,000 µg/mL の濃度まで抗細菌活性が認められなかった。また、各種動物を用いた本剤の高用量の投与による反復投与毒性試験において、フルジオキシニルが腸内細菌叢に影響を与えたことを示唆する消化管粘膜上皮細胞の炎症等の症状は認められなかった。認められた体重増加抑制及び下痢の症状が、本剤の腸内細菌叢への影響によるものであったと仮定しても、その用量はおよそ 100 mg/kg 体重/日を超える高用量である。(参照 2、15)

以上より、ヒトにおいて、体重あたり理論的 maximum 一日摂取量(0.028 mg/kg 体重/日)を毎日摂取したとしても、耐性菌が選択され、保健衛生上の危害を生じるおそれはないものと考えられる。

##### (2) 真菌に対する作用について

1 ヒトがフルジオキシニルを継続的に摂取することにより体内の真菌が耐性  
2 を獲得し、保健衛生上の危害を生じるか否かについて考える上においては、我  
3 が国において表在性真菌症及び深部皮膚真菌症を除くヒト真菌症、すなわち深  
4 在性真菌症に主に関わるアスペルギルス属、カンジダ属及びクリプトコッカス  
5 属の真菌を対象を絞って差し支えないものとする。中でも内因性の深在性真  
6 菌症の主たる原因となる *Candida albicans* に対しては、フルジオキシニルは  
7 1.6 µg/mL の濃度でその成長を緩やかに阻害するとされているが（参照 26）、  
8 ラットに 0.5 mg/kg 体重のフルジオキシニルを単回経口投与したときの血中の  
9 C<sub>max</sub> は雄で 0.0652 (µg/g)、雌で 0.0268 (µg/g) であり（参照 2、15）、ヒト  
10 において体重あたり理論的的最大一日摂取量 (0.028 mg/kg 体重/日) を毎日摂取  
11 した場合を想定しても C<sub>max</sub>/MIC は一般に抗真菌治療の目安とされるオーダー  
12 を大幅に下回るものと推定される。

13 また、本剤の抗真菌作用の主たる機序は、MAP-kinase カスケードを制御す  
14 るタンパク質のリン酸化に関与するキナーゼ (PK-III) の阻害と考えられてお  
15 り、既存の深在性真菌症の治療に用いられる医薬品の作用機序にはみられない  
16 ものである。

17 さらに、我が国における主たる深在性真菌症の原因真菌の中から、仮にフル  
18 ジオキシニルに耐性のある真菌が選択されたとしても、そのような真菌症に対  
19 しては複数の異なる作用機序をもつ医薬品が利用可能であり、実際の医療上の  
20 問題を引き起こすことは考えにくい。

21 以上より、ヒトがフルジオキシニルを継続的に経口摂取することによって耐  
22 性真菌が選択され、保健衛生上の危害を生じる可能性は想定しがたい。

### 23 (3) 耐性の伝達について

24 細菌間にみられるような耐性の伝達については、人為的な操作が必要である  
25 こと、国内での農薬としての使用経験の中で特段問題とされていないこと等か  
26 ら、真菌間で発生することは考えにくい。  
27

### 1 III. 食品健康影響評価

2 参照に挙げた資料を用いて農薬・添加物「フルジオキシニル」の食品健康影響評  
3 価を実施した。

4 ラットに経口投与されたフルジオキシニルの吸収及び排泄は比較的速やかであ  
5 り、投与後 24 時間で 75～90%TAR が糞尿中に排泄された。主要排泄経路は糞中  
6 であった。胆汁中への排泄は、投与後 48 時間で約 67%TAR であり、約 77%TAR  
7 が腸管から循環系に吸収されるものと推定された。臓器・組織への蓄積性は認めら  
8 れなかった。糞中では親化合物が、尿及び胆汁中では代謝物 B、C、D、E 等が検  
9 出された。ラットにおける主要代謝経路は、①ピロール環の 2 位における酸化及び  
10 抱合 (B 及び C の生成)、②ピロール環の 5 位における酸化及び抱合 (D 及び F の  
11 生成)、③フェニル環の水酸化 (E の生成) であると推定された。

12 稲を用いた植物体内運命試験では、収穫時の植物体の残留放射能は 0.002 mg/kg  
13 以下と極めて低かった。小麦、ぶどう等を用いた植物体内運命試験では、植物体中  
14 の残留放射能の主要成分は親化合物であり、G、H、I、M、P 等多数の代謝物が同  
15 定されたが、いずれも少量であった。植物における主要代謝経路は、①ピロール環  
16 の酸化 (G、H 及び P の生成)、②ピロール環の開裂 (I、J、K、M、R 及び T の  
17 生成)、③G のピロール環の還元及びその後の酸化 (L の生成)、④グルコース抱合  
18 (N 及び Q の生成) であると推定された。

19 各種毒性試験結果から、フルジオキシニル投与による影響は主に肝臓、腎臓及び  
20 血液に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問  
21 題となる遺伝毒性は認められなかった。

22 各種試験結果から、農産物中の暴露評価対象物質をフルジオキシニル (親化合物  
23 のみ) と設定した。

24 各試験における無毒性量等は表 23 に示されている。

25 各試験で得られた無毒性量の最小値は、イヌを用いた 90 日間亜急性毒性試験の  
26 6.2 mg/kg 体重/日であったが、より長期の 1 年間慢性毒性試験における無毒性量は  
27 33.1 mg/kg 体重/日であった。この差は用量設定間隔の違いによるもので、イヌに  
28 おける無毒性量は 33.1 mg/kg 体重/日とするのが妥当と考えられた。ラットを用い  
29 た 2 世代繁殖試験における親動物の無毒性量は P 雌で 17.9 mg/kg 体重/日であった  
30 が、より長期の 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験における無毒性量は 37 mg/kg 体  
31 重/日であった。この差は 2 世代繁殖試験における用量設定の違いによるものと考  
32 えられ、また、同 2 世代繁殖試験における児動物の無毒性量は F1 で 21.1mg/kg 体  
33 重/日であったが、体重増加抑制の程度は軽度であり、明確な用量-反応関係もみ  
34 られなかったことから、ラットにおける無毒性量は 37 mg/kg 体重/日とするのが妥  
35 当と考えられた。以上より、食品安全委員会農薬専門調査会は、イヌを用いた 1 年  
36 間慢性毒性試験の無毒性量 33.1 mg/kg 体重/日を根拠として、安全係数 100 で除し  
37 た 0.33 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量 (ADI) と設定した。

38



|              |                 |
|--------------|-----------------|
| ADI          | 0.33 mg/kg 体重/日 |
| (ADI 設定根拠資料) | 慢性毒性試験          |
| (動物種)        | イヌ              |
| (期間)         | 1 年間            |
| (投与方法)       | 混餌              |
| (無毒性量)       | 33.1 mg/kg 体重/日 |
| (安全係数)       | 100             |

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

農薬としての使用に基づく暴露量については、当評価結果を踏まえて暫定基準値の見直しを行う際に確認することとする。なお、平成 10～12 年の国民栄養調査結果に基づき試算されるフルジオキシソニルの一日当たりの理論的 maximum 一日摂取量は 1,424 µg であり、ヒトの体重を 50 kg と仮定すると、その ADI 比は 8.6% である。

また、ヒトにおける暴露量及び体内動態も勘案して検討を行った結果、ヒトがフルジオキシソニルを継続的に経口摂取することによって耐性菌が選択され、保健衛生上の危害を生じるおそれはないものとする。

表 23 各試験における無毒性量の比較

| 動物種 | 試験                           | 投与量<br>(mg/kg 体重/日)  | 無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>   |   |   |   |   |
|-----|------------------------------|--|---|---|---|---|---|
|     |                              |  | 農薬抄録  | JMPR  | 米国  | 豪州 <sup>2)</sup>  | カナダ   |
| ラット | 90日間<br>亜急性<br>毒性試験          | 0, 10, 100, 1,000, 7,000, 20,000<br>ppm  | 雄：64<br>雌：70  | 64  | 雄：64<br>雌：70  | 7   | 64  |
|     |                              | 雄：0, 0.8, 6.6, 64, 428, 1,280<br>雌：0, 1.0, 7.1, 70, 462, 1,290   | 雄：慢性腎症等<br>雌：体重増加抑制<br>等  | 腎臓及び肝臓障害  | 雌雄：体重増加抑<br>制等  | 肝細胞肥大   | 肝臓の病理組織学<br>的变化、体重増加<br>抑制、臨床化学検<br>査値及び腎増の病<br>理学的変化   |
|     | 2年間<br>慢性毒性/<br>発がん性<br>併合試験 | 0, 10, 30, 100, 1,000, 3,000<br>ppm  | 雄：37<br>雌：44  | 37  | 雄：37<br>雌：44  | 3.7   | 慢性毒性：3.7 <sup>3)</sup><br>発がん性：113 <sup>3)</sup>        |
|     |                              | 雄：0, 0.37, 1.1, 3.7, 37, 113<br>雌：0, 0.44, 1.3, 4.4, 44, 141   | 雌雄：体重増加抑<br>制等  | 雄：体重増加抑制、<br>腎のう胞、腎症<br>雌：体重増加抑制                        | 雌雄：肝細胞肥大<br>等<br>肝腫瘍増加（雌）                                   | 着色尿、体重増加<br>抑制等   | 雌：肝病変増加   |
|     | 2世代<br>繁殖試験                  | 0, 30, 300, 3,000 ppm  | 親動物、児動物<br>P雄：18.9<br>P雌：17.9<br>F <sub>1</sub> 雄：21.1<br>F <sub>1</sub> 雌：22.0 | 親動物：21<br>児動物：21  | 親動物、児動物<br>雄：22.1<br>雌：24.2                                 | 親動物：15<br>児動物：15  | ~20 <sup>3)</sup>                                       |
|     |                              | P雄：0, 1.88, 18.9, 190<br>P雌：0, 1.81, 17.9, 183<br>F <sub>1</sub> 雄：0, 2.06, 21.1, 213<br>F <sub>1</sub> 雌：0, 2.24, 22.0, 227 | 親動物、雌雄：<br>体重増加抑制等<br>児動物：低体重<br><br>(繁殖能に対する影響<br>は認められない)                     | 親動物：体重増加<br>抑制<br>児動物：低体重<br><br>(繁殖能に対する影響<br>は認められない) | 親動物、雌雄：<br>体重増加抑制等<br>児動物：低体重<br><br>(繁殖能に対する影響<br>は認められない) | 親動物：体重増加<br>抑制<br>児動物：低体重<br><br>(繁殖能に対する影響<br>は認められない) | 母動物：体重増加<br>抑制<br>児動物：低体重<br><br>(繁殖能に対する影響<br>は認められない) |

| 動物種 | 試験                   | 投与量<br>(mg/kg 体重/日)   | 無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>  |  |  |  |  |
|-----|----------------------|---|--|--|--|--|--|
|     |                      |   | 農薬抄録   | JMPR   | 米国   | 豪州 <sup>2)</sup>   | カナダ  |
|     | 発生毒性試験               | 0、10、100、1,000  | 母動物：100<br>胎児：1,000<br><br>母動物：体重増加抑制等<br>胎児：毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物：100<br>胎児：1,000<br><br>母動物：体重増加抑制等<br>胎児：毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物：100<br>胎児：100<br><br>母動物：体重増加抑制等<br>胎児：腎盂拡張<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物：100<br>胎児：1,000<br><br>母動物：体重増加抑制等<br>胎児：毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物：100<br>胎児：100<br><br>母動物：体重増加抑制等<br>胎児：腎盂拡張<br><br>(催奇形性は認められない)   |
| マウス | 90日間<br>亜急性<br>毒性試験  | 0、10、100、1,000、3,000、7,000 ppm<br>-----<br>雄：0、1.3、13.9、144、445、1,050<br>雌：0、1.9、17.0、178、559、1,310 | 雄：445<br>雌：559<br><br>雌雄：尿細管腎症等  | 450<br><br>雌雄：腎症等  | 雄：445<br>雌：559<br><br>雌雄：肝比重量増加等                                     | 14<br><br>着色尿  | 445<br><br>雌雄：臨床化学検査値及び肝臓の病理組織学的変化を伴う肝重量増加   |
|     | 18カ月間<br>発がん性<br>試験① | 0、10、100、1,000、3,000 ppm<br>-----<br>雄：0、1.1、11.3、112、360<br>雌：0、1.4、13.5、133、417                   | 雄：112<br>雌：133<br><br>雌雄：脾臓腫大等<br><br>(発がん性は認められない)                      | 112<br><br>肝重量増加、胸腺及び脾臓腫大<br><br>(発がん性は認められない)                           | 雄：11.3<br>雌：133<br><br>雄：保定時の痙攣<br>雌：肝絶対重量増加、肝腫大<br><br>リンパ腫増加傾向(雌)  | 11.3<br><br>着色尿、MCHC減少等<br><br>リンパ腫増加傾向(雌)                               | 慢性毒性：360<br>発がん性：851 <sup>3)</sup><br><br>雄：食餌効率低下、肝重量増加、肝臓の壊死、胆管増生、<br>雌雄：腎臓石灰化、腎症<br><br>(発がん性は認められない)<br><br>*試験①②の総合評価 |

| 動物種 | 試験                    | 投与量<br>(mg/kg 体重/日)  | 無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>   |   |   |   |  |
|-----|-----------------------|--|---|---|---|---|--|
|     |                       |  | 農薬抄録  | JMPR  | 米国  | 豪州 <sup>2)</sup>  | カナダ  |
|     | 18 カ月間<br>発がん性<br>試験② | 0, 3, 30, 5,000, 7,000 ppm                                 | (最大耐量)<br>雌雄 : 5,000  | 3.3   | 雄 : 590<br>雌 : 715  | 3.3   |  |
|     |                       | 雄 : 0, 0.33, 3.3, 590, 851<br>雌 : 0, 0.41, 4.1, 715, 1,010 | (発がん性は認められない)   | (発がん性は認められない)   | (発がん性は認められない)   | (発がん性は認められない)   |  |
|     |                       |  | * 試験①②の総合評価で、無毒性量は雄 : 112、雌 : 133   | * 試験①②の総合評価で、無毒性量は 112  |   |   |  |
| ウサギ | 発生毒性<br>試験            | 0, 10, 100, 300  | 母動物 : 100<br>胎児 : 300<br><br>母動物 : 体重増加抑制<br>胎児 : 毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物 : 100<br>胎児 : 300<br><br>母動物 : 体重増加抑制、摂餌量減少<br>胎児 : 毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物 : 10<br>胎児 : 300<br><br>母動物 : 体重増加抑制等<br>胎児 : 毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物 : 10<br>胎児 : 300<br><br>母動物 : 体重増加抑制等<br>胎児 : 毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) | 母動物 : 100 <sup>3)</sup><br>胎児 : 300 <sup>3)</sup><br><br>母動物 : 体重増加抑制等<br>胎児 : 毒性所見なし<br><br>(催奇形性は認められない) |
| イヌ  | 90 日間<br>亜急性<br>毒性試験  | 0, 200, 2,000, 15,000/10,000 ppm                           | 雌雄 : 6.2<br><br>雌雄 : 下痢   | 59<br><br>貧血、T.Chol 増加  | 雌雄 : 5<br><br>雌雄 : 下痢   | 6.2<br><br>下痢等  | 5 <sup>3)</sup><br><br>下痢  |
|     | 1 年間<br>慢性毒性<br>試験    | 0, 100, 1,000, 8,000 ppm                                   | 雄 : 33.1<br>雌 : 35.5<br><br>雌雄 : 体重増加抑制等                                      | 33<br><br>体重増加抑制、T.Chol 増加等   | 雄 : 33.1<br>雌 : 3.3<br><br>雌雄 : 体重増加抑制  | 3.1<br><br>体重増加抑制等  | 33.1<br><br>体重増加抑制、臨床化学検査値及び肝臓の変化  |

| 動物種 | 試験                | 投与量<br>(mg/kg 体重/日) | 無毒性量 (mg/kg 体重/日) <sup>1)</sup>        |                                     |  |  |                                       |
|-----|-------------------|---------------------|--|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
|     |                   |                     | 農薬抄録                                   | JMPR                                | 米国                                     | 豪州 <sup>2)</sup>   | カナダ                                   |
|     | ADI (cRfD)        |                     | NOAEL : 33.1<br>SF : 100<br>ADI : 0.33 | NOAEL : 37<br>SF : 100<br>ADI : 0.4 | NOAEL : 3.3<br>UF : 100<br>cRfD : 0.03 | NOEL : 3.7<br>SF : 100<br>ADI : 0.03<br><br>NOEL : 3.1<br>SF : 100<br>ADI : 0.03 | NOEL : 3.7<br>SF : 100<br>ADI : 0.037 |
|     | ADI (cRfD) 設定根拠資料 |                     | イヌ 1 年間慢性<br>毒性試験                      | ラット 2 年間慢性<br>毒性/発がん性併合<br>試験       | イヌ 1 年間慢性<br>毒性試験                      | ラット 2 年間慢性<br>毒性/発がん性併合<br>試験<br><br>イヌ 1 年間慢性<br>毒性試験                           | ラット 2 年間慢性<br>毒性/発がん性併合<br>試験         |

1 NOAEL : 無毒性量 SF : 安全係数 UF : 不確実係数 ADI : 一日摂取許容量 cRfD:慢性参照用量 NOEL : 無影響量

2 <sup>1)</sup> : 無毒性量欄には、最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した

3 <sup>2)</sup> : 豪州の無毒性量欄の数値はすべて NOEL である。

4 <sup>3)</sup> : NOEL

5

1 <別紙 1：代謝物/分解物略称>

| 記号 | 名称 (略称)  | 化学名   |
|----|--|---|
| B  |  | 2-β-グルクロニル-4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -ピロール-3-カルボニトリル  |
| C  |  | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -ピロール-3-カルボニトリル-硫酸  |
| D  |  | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-5-β-D-グルクロニル-1 <i>H</i> -ピロール-3-カルボニトリル  |
| E  |  | 4-(2,2-ジフルオロ-7-β-グルクロニル-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -ピロール-3-カルボニトリル  |
| F  | ピロール環の 5 位スルホニル体   | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)ピロール-3-カルボニトリル-5-硫酸   |
| G  | ピロール環の 2 位酸化、5 位ヒドロキシル体 (P15) または 2 位ヒドロキシル、5 位酸化体 (P16) | 1,5-ジヒドロ-5-ヒドロキシ-4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-2 <i>H</i> -ピロール-2-オン-3-カルボニトリル<br>または、その異性体<br>1,2-ジヒドロ-2-ヒドロキシ-4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-5 <i>H</i> -ピロール-5-オン-3-カルボニトリル |
| H  | 1-ヒドロキシピロールの 2,5 ジオン体                                    | 1-ヒドロキシ-4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -ピロール-2,5-ジオン-3-カルボニトリル   |
| I  |  | α-ヒドロキシ-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-アセトアミド   |
| J  | ピロール環の酸化開裂体  | 2-シアノ-3-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-3-オクソ-プロパンアミド  |
| K  |  | 2-2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-カルボン酸   |
| L  | ピロール環の 2,5 位酸化、3 位のカルボキシル体                               | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-2,5-ジオクソ-3-ピロリジンカルボキシル酸  |
| M  | プロピアンアミド体  | 2-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-3-シアノ-3-オクソ-プロピオンアミド   |
| N  | 代謝物 I の配糖体   | α-o-グルコシル-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-アセトアミド   |
| O  | 青色物質   |   |
| P  | 2,5-ジケトン   | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -ピロール-2,5-ジオン-3-カルボニトリル   |
| Q  | 酸化フルジオキソニルの糖抱合体及び微量代謝物                                   |   |
| R  |  | シス-3-(アミノカルボニル)-2-シアノ-3-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-オキサレンカルボン酸   |
| S  |  | 4-(2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオキソール-4-イル)-1 <i>H</i> -2,5-ジオクソ-3-ピロリジンカルバニトリル  |
| T  |  | 3-(アミノカルボニル)-2-シアノ-2,2-ジフルオロ-1,3-ベンズジオクソール-プロパン酸  |
| U  |  | (原体混在物)   |
| V  |  | (原体混在物)   |
| W  |  | (原体混在物)   |

1 <別紙 2：検査値等略称>

| 略称               | 名称   |
|------------------|--|
| ACh              | アセチルコリン  |
| ai               | 有効成分量  |
| ALP              | アルカリホスファターゼ                                      |
| APTT             | 活性化部分トロンボプラスチン時間                                 |
| BUN              | 血液尿素窒素   |
| C <sub>max</sub> | 最高濃度   |
| CMC              | カルボキシメチルセルロース                                    |
| GGT              | γ-グルタミルトランスフェラーゼ<br>(=γ-グルタミルトランスペプチダーゼ (γ-GTP)) |
| Glu              | グルコース (血糖)                                       |
| Hb               | ヘモグロビン (血色素量)                                    |
| His              | ヒスタミン  |
| Ht               | ヘマトクリット値   |
| LC <sub>50</sub> | 半数致死濃度   |
| LD <sub>50</sub> | 半数致死量  |
| MC               | メチルセルロース   |
| MCH              | 平均赤血球ヘモグロブリン量                                    |
| MCV              | 平均赤血球容積  |
| NA               | ノルアドレナリン   |
| PHI              | 最終使用から収穫までの日数                                    |
| RBC              | 赤血球数   |
| T <sub>1/2</sub> | 消失半減期  |
| TAR              | 総投与 (処理) 放射能                                     |
| T.Bil            | 総ビリルビン   |
| T.Chol           | 総コレステロール   |
| T <sub>max</sub> | 最高濃度到達時間   |
| TRR              | 総残留放射能   |

2

3

1 <別紙3：作物残留試験成績（農薬としての使用）>

| 作物名<br>(栽培形態)<br>(分析部位)<br>試験年度  | 試験圃場数 | 使用量<br>(g ai/ha)                                       | 回数<br>(回) | PHI<br>(日) | 残留値 (mg/kg) |        |        |        |
|----------------------------------|-------|--|-----------|------------|-------------|--------|--------|--------|
|                                  |       |  |           |            | フルジオキシニル    |        |        |        |
|                                  |       |  |           |            | 公的分析機関      |        | 社内分析機関 |        |
|                                  |       |  |           |            | 最高値         | 平均値    | 最高値    | 平均値    |
| 水稲<br>(玄米)<br>1991年度             | 2     | 6.6 g ai/L <sup>WP</sup><br>乾燥種籾重の 3%<br>吹き付け          | 1         | 140<br>171 | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(稲わら)<br>1991年度            | 2     | 6.6 g ai/L <sup>WP</sup><br>乾燥種籾重の 3%<br>吹き付け          | 1         | 140<br>171 | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(玄米)<br>1991年度             | 2     | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>乾燥種籾重の<br>0.5%種子粉衣<br>(湿粉衣) | 1         | 140<br>171 | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(稲わら)<br>1991年度            | 2     | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>乾燥種籾重の<br>0.5%種子粉衣<br>(湿粉衣) | 1         | 140<br>171 | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(玄米)<br>1991年度             | 2     | 2.5g ai/L <sup>WP</sup><br>10 分間浸漬                     | 1         | 140<br>171 | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(稲わら)<br>1991年度            | 2     | 2.5g ai/L <sup>WP</sup><br>10 分間浸漬                     | 1         | 140<br>171 | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(玄米)<br>1991年度             | 2     | 0.25 g ai/L <sup>WP</sup><br>24 時間浸漬                   | 1         | 139<br>170 | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| 水稲<br>(稲わら)<br>1991年度            | 2     | 0.25 g ai/L <sup>WP</sup><br>24 時間浸漬                   | 1         | 139<br>170 | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           |            | <0.01       | <0.01  | <0.005 | <0.005 |
| いんげん<br>(露地)<br>(乾燥子実)<br>1998年度 | 4     | 600 g ai/ha <sup>SC</sup>                              | 3         | 1          | 0.015       | 0.014  | 0.012  | 0.011  |
|                                  |       |  |           | 3          | 0.018       | 0.018  | 0.011  | 0.011  |
|                                  |       |  |           | 7          | 0.016       | 0.016  | 0.010  | 0.009  |
|                                  |       |  | 3         | 1          | 0.083       | 0.080  | 0.058  | 0.056  |
|                                  |       |  |           | 3          | 0.065       | 0.064  | 0.050  | 0.048  |
|                                  |       |  |           | 7          | 0.064       | 0.062  | 0.055  | 0.054  |
|                                  |       |  | 3         | 7          | 0.014       | 0.014  | 0.008  | 0.008  |
|                                  |       |  |           | 14         | 0.008       | 0.008  | 0.007  | 0.006  |
|                                  |       |  |           | 21         | 0.007       | 0.007  | 0.006  | 0.006  |
|                                  |       |  | 3         | 7          | 0.007       | 0.006  | 0.009  | 0.009  |
|                                  |       |  |           | 14         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           | 21         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| キャベツ<br>(露地)<br>(葉球)<br>1994年度   | 2     | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>種子重量の 0.5%<br>種子粉衣(湿粉衣)     | 1         | 80         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                  |       |  |           | 133        | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |



| 作物名<br>(栽培形態)<br>(分析部位)<br>試験年度 | 試験圃<br>場数 | 使用量<br>(g ai/ha)                                   | 回数<br>(回) | PHI<br>(日) | 残留値 (mg/kg) |        |        |        |
|---------------------------------|-----------|--|-----------|------------|-------------|--------|--------|--------|
|                                 |           |  |           |            | フルジオキソニル    |        |        |        |
|                                 |           |  |           |            | 公的分析機関      |        | 社内分析機関 |        |
|                                 |           |  |           |            | 最高値         | 平均値    | 最高値    | 平均値    |
| キャベツ<br>(露地)<br>(葉球)<br>1999年度  | 2         | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>種子重量の 0.5%<br>種子粉衣(湿粉衣) | 4         | 3          | 0.263       | 0.257  | 0.046  | 0.040  |
|                                 |           |  |           | 7          | 0.073       | 0.070  | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           | 400 g ai/ha <sup>SC</sup>                          | 14        | 14         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  | 4         | 3          | 0.169       | 0.166  | 0.297  | 0.286  |
|                                 |           |  | 7         | 7          | 0.305       | 0.304  | 0.060  | 0.054  |
|                                 |           |  | 14        | 14         | 0.019       | 0.018  | <0.005 | <0.005 |
| トマト<br>(施設)<br>(果実)<br>1994年度   | 2         | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>種子重量の 0.5%<br>種子粉衣(湿粉衣) | 4         | 1          | 0.103       | 0.098  | 0.139  | 0.136  |
|                                 |           |  | 6         | 1          | 0.092       | 0.089  | 0.111  | 0.108  |
|                                 |           |  | 6         | 3          | 0.115       | 0.112  | 0.058  | 0.057  |
|                                 |           |  | 6         | 7          | 0.174       | 0.172  | 0.058  | 0.057  |
|                                 |           | 600 g ai/ha <sup>SC</sup>                          | 4         | 1          | 0.392       | 0.384  | 0.694  | 0.690  |
|                                 |           |  | 6         | 1          | 0.376       | 0.370  | 0.547  | 0.538  |
|                                 |           |  | 6         | 3          | 0.287       | 0.271  | 0.210  | 0.206  |
|                                 |           |  | 6         | 7          | 0.126       | 0.125  | 0.091  | 0.088  |
| なす<br>(施設)<br>(果実)<br>1994年度    | 2         | 600 g ai/ha <sup>SC</sup>                          | 3         | 1          | 0.069       | 0.066  | 0.422  | 0.404  |
|                                 |           |  | 5         | 1          | 0.123       | 0.118  | 0.247  | 0.236  |
|                                 |           |  | 5         | 3          | 0.060       | 0.059  | 0.021  | 0.020  |
|                                 |           |  | 5         | 7          | 0.017       | 0.016  | 0.023  | 0.022  |
|                                 |           |  | 3         | 1          | 0.378       | 0.369  | 0.471  | 0.468  |
|                                 |           |  | 5         | 1          | 0.312       | 0.308  | 0.667  | 0.660  |
|                                 |           |  | 5         | 3          | 0.358       | 0.345  | 0.430  | 0.420  |
|                                 |           |  | 5         | 7          | 0.134       | 0.129  | 0.205  | 0.202  |
| きゅうり<br>(施設)<br>(果実)<br>1994年度  | 2         | 500<br>~600 g ai/ha <sup>SC</sup>                  | 3         | 1          | 0.346       | 0.343  | 0.420  | 0.416  |
|                                 |           |  | 5         | 1          | 0.368       | 0.362  | 0.456  | 0.451  |
|                                 |           |  | 5         | 3          | 0.235       | 0.230  | 0.370  | 0.368  |
|                                 |           |  | 5         | 7          | 0.104       | 0.098  | 0.125  | 0.122  |
|                                 |           |  | 3         | 1          | 0.603       | 0.582  | 0.699  | 0.678  |
|                                 |           |  | 5         | 1          | 0.716       | 0.696  | 0.712  | 0.701  |
|                                 |           |  | 5         | 3          | 0.375       | 0.371  | 0.354  | 0.351  |
|                                 |           |  | 5         | 7          | 0.145       | 0.140  | 0.142  | 0.142  |
| ほうれん草<br>(施設)<br>(茎葉)<br>1992年度 | 2         | 50 g ai/L <sup>WP</sup><br>種子重量の 0.5%<br>種子粉衣(湿粉衣) | 1         | 28         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  |           | 35         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  |           | 38         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  |           | 45         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| たまねぎ<br>(鱗茎)<br>1996年度          | 2         | 300 g ai/ha <sup>SC</sup>                          | 3         | 1          | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  |           | 3          | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           |  |           | 7          | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| たまねぎ<br>(鱗茎)<br>2002年度          | 2         | 0.4 g ai/L <sup>SC</sup><br>5分間苗浸漬                 | 4         | 1          | <0.005      | <0.005 | 0.005  | 0.005  |
|                                 |           |  |           | 3          | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                 |           | 300 g ai/ha <sup>SC</sup>                          | 7         | <0.005     | <0.005      | <0.005 | <0.005 |        |
|                                 |           |  | 4         | 1          | 0.014       | 0.014  | 0.011  | 0.010  |
|                                 |           |  | 3         | <0.005     | <0.005      | <0.005 | <0.005 |        |
|                                 |           |  | 7         | <0.005     | <0.005      | <0.005 | <0.005 |        |
| たまねぎ<br>(鱗茎)<br>2003年度          | 2         | 0.4 g ai/L <sup>SC</sup><br>苗浸漬                    | 4         | 1          | <0.01       | <0.01  | <0.01  | <0.01  |
|                                 |           |  |           | 7          | <0.01       | <0.01  | <0.01  | <0.01  |
|                                 |           | 230~460 ai/ha <sup>WG</sup>                        |           | 14         | <0.01       | <0.01  | <0.01  | <0.01  |

| 作物名<br>(栽培形態)<br>(分析部位)<br>試験年度   | 試験圃<br>場数 | 使用量<br>(g ai/ha)          | 回数<br>(回)                       | PHI<br>(日) | 残留値 (mg/kg) |       |        |       |
|-----------------------------------|-----------|---------------------------|---------------------------------|------------|-------------|-------|--------|-------|
|                                   |           |                           |                                 |            | フルジオキソニル    |       |        |       |
|                                   |           |                           |                                 |            | 公的分析機関      |       | 社内分析機関 |       |
|                                   |           |                           |                                 |            | 最高値         | 平均値   | 最高値    | 平均値   |
| にら<br>(茎葉)<br>2000~2001<br>年度     | 2         | 150 g ai/ha <sup>SC</sup> | 1                               | 3          | 1.88        | 1.82  | 1.81   | 1.82  |
|                                   |           |                           |                                 | 7          | 0.64        | 0.63  | 0.46   | 0.44  |
| 14                                | 0.30      | 0.30                      |                                 | 0.30       | 0.30        |       |        |       |
|                                   |           |                           | 1                               | 3          | 4.92        | 4.86  | 6.14   | 5.97  |
|                                   |           |                           |                                 | 7          | 0.55        | 0.54  | 0.72   | 0.70  |
| 14                                | 0.22      | 0.12                      |                                 | 0.25       | 0.24        |       |        |       |
| さやえんどう<br>(施設)<br>(さや)<br>2004年度  | 2         | 400 g ai/ha <sup>SC</sup> | 2<br>2<br>2<br>3<br>3<br>3<br>3 | 1          | /           | /     | 0.50   | 0.48  |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 0.49        | 0.48  |        |       |
| 7                                 | 0.43      | 0.42                      |                                 |            |             |       |        |       |
| 1                                 | 0.71      | 0.71                      |                                 |            |             |       |        |       |
| 3                                 | 0.48      | 0.46                      |                                 |            |             |       |        |       |
| 3                                 | 0.29      | 0.29                      |                                 |            |             |       |        |       |
| 2                                 | 1         | /                         |                                 | /          | 2.07        | 2.02  |        |       |
| 2                                 | 3         | 1.65                      |                                 | 1.62       |             |       |        |       |
| 2                                 | 7         | 0.26                      |                                 | 0.26       |             |       |        |       |
| 3                                 | 1         | 2.28                      |                                 | 2.21       |             |       |        |       |
| 3                                 | 3         | 0.54                      |                                 | 0.52       |             |       |        |       |
| 3                                 | 7         | 0.48                      |                                 | 0.46       |             |       |        |       |
| 未成熟いんげん<br>(施設)<br>(さや)<br>1998年度 | 2         | 600 g ai/ha <sup>SC</sup> | 3                               | 1          | 1.62        | 1.60  | 1.14   | 1.12  |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 0.809       | 0.805 | 0.790  | 0.764 |
| 7                                 | 0.157     | 0.156                     |                                 | 0.119      | 0.118       |       |        |       |
|                                   |           |                           | 3                               | 1          | 0.753       | 0.734 | 0.306  | 0.302 |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 0.643       | 0.626 | 0.304  | 0.302 |
| 7                                 | 0.301     | 0.296                     |                                 | 0.090      | 0.087       |       |        |       |
| 未成熟ささげ<br>(露地)<br>(さや)<br>2004年度  | 2         | 400 g ai/ha <sup>SC</sup> | 3                               | 1          | 0.91        | 0.90  | /      | /     |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 0.22        | 0.22  | /      | /     |
| 7                                 | <0.05     | <0.05                     |                                 | /          | /           |       |        |       |
|                                   |           |                           | 3                               | 1          | 1.28        | 1.26  | /      | /     |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 0.56        | 0.55  | /      | /     |
| 7                                 | 0.23      | 0.22                      |                                 | /          | /           |       |        |       |
| えだまめ<br>(施設)<br>(さや)<br>2005年度    | 2         | 400 g ai/ha <sup>SC</sup> | 3                               | 1          | 1.7         | 1.7   | 1.2    | 1.2   |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 1.4         | 1.4   | 1.0    | 1.0   |
| 7                                 | 1.6       | 1.6                       |                                 | 1.0        | 1.0         |       |        |       |
|                                   |           |                           | 3                               | 1          | 2.8         | 2.8   | 2.2    | 2.2   |
|                                   |           |                           |                                 | 3          | 2.4         | 2.4   | 2.0    | 2.0   |
| 7                                 | 2.4       | 2.4                       |                                 | 1.6        | 1.6         |       |        |       |
| ふき<br>(施設)<br>(茎部)<br>2003年度      | 2         | 300 g ai/ha <sup>SC</sup> | 2                               | 7          | 0.72        | 0.72  | 0.41   | 0.41  |
|                                   |           |                           |                                 | 14         | 0.43        | 0.42  | 0.10   | 0.10  |
| 21                                | 0.21      | 0.21                      |                                 | 0.02       | 0.02        |       |        |       |
|                                   |           |                           | 2                               | 7          | 0.78        | 0.78  | 0.70   | 0.70  |
|                                   |           |                           |                                 | 14         | 0.11        | 0.11  | 0.56   | 0.56  |
| 21                                | <0.03     | <0.03                     |                                 | 0.50       | 0.50        |       |        |       |

| 作物名<br>(栽培形態)<br>(分析部位)<br>試験年度    | 試験圃<br>場数 | 使用量<br>(g ai/ha)                  | 回数<br>(回) | PHI<br>(日) | 残留値 (mg/kg) |        |        |        |
|------------------------------------|-----------|-----------------------------------|-----------|------------|-------------|--------|--------|--------|
|                                    |           |                                   |           |            | フルジオキシニル    |        |        |        |
|                                    |           |                                   |           |            | 公的分析機関      |        | 社内分析機関 |        |
|                                    |           |                                   |           |            | 最高値         | 平均値    | 最高値    | 平均値    |
| 温州みかん<br>(施設・無袋)<br>(果肉)<br>1998年度 | 2         | 460<br>~920 g ai/ha <sup>WG</sup> | 3         | 7          | 0.022       | 0.022  | 0.013  | 0.012  |
|                                    |           |                                   |           | 14         | 0.005       | 0.005  | 0.006  | 0.006  |
|                                    |           |                                   |           | 21         | 0.005       | 0.005  | 0.005  | 0.005  |
|                                    |           |                                   | 3         | 7          | 0.017       | 0.016  | 0.011  | 0.010  |
|                                    |           |                                   |           | 14         | 0.012       | 0.012  | 0.005  | 0.005  |
|                                    |           |                                   |           | 21         | 0.024       | 0.023  | 0.011  | 0.010  |
| 温州みかん<br>(施設・無袋)<br>(果皮)<br>1998年度 | 2         | 460<br>~920 g ai/ha <sup>WG</sup> | 3         | 7          | 2.84        | 2.83   | 1.68   | 1.67   |
|                                    |           |                                   |           | 14         | 3.45        | 3.36   | 1.38   | 1.38   |
|                                    |           |                                   |           | 21         | 3.79        | 3.77   | 1.23   | 1.22   |
|                                    |           |                                   | 3         | 7          | 3.84        | 3.84   | 1.63   | 1.60   |
|                                    |           |                                   |           | 14         | 3.32        | 3.30   | 1.37   | 1.30   |
|                                    |           |                                   |           | 21         | 2.99        | 2.97   | 1.38   | 1.36   |
| なつみかん<br>(露地・無袋)<br>(果実)<br>2000年度 | 2         | 460<br>~575 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 45         | 0.21        | 0.20   | 0.27   | 0.26   |
|                                    |           |                                   |           | 60         | 0.24        | 0.24   | 0.19   | 0.19   |
|                                    |           |                                   |           | 91         | 0.19        | 0.18   | 0.12   | 0.12   |
|                                    |           |                                   | 2         | 45         | 0.27        | 0.27   | 0.26   | 0.26   |
|                                    |           |                                   |           | 60         | 0.12        | 0.11   | 0.19   | 0.17   |
|                                    |           |                                   |           | 90         | 0.12        | 0.12   | 0.11   | 0.10   |
| なつみかん<br>(露地・無袋)<br>(果肉)<br>2000年度 | 2         | 460<br>~575 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 45         | 0.007       | 0.006  | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   |           | 60         | 0.006       | 0.006  | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   |           | 91         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   | 2         | 45         | 0.007       | 0.007  | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   |           | 60         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   |           | 90         | <0.005      | <0.005 | <0.005 | <0.005 |
| なつみかん<br>(露地・無袋)<br>(果皮)<br>2000年度 | 2         | 460<br>~575 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 45         | 0.78        | 0.75   | 0.942  | 0.876  |
|                                    |           |                                   |           | 60         | 0.79        | 0.77   | 0.664  | 0.635  |
|                                    |           |                                   |           | 91         | 0.63        | 0.60   | 0.414  | 0.410  |
|                                    |           |                                   | 2         | 45         | 1.03        | 1.00   | 0.947  | 0.916  |
|                                    |           |                                   |           | 60         | 0.40        | 0.38   | 0.673  | 0.608  |
|                                    |           |                                   |           | 90         | 0.41        | 0.40   | 0.382  | 0.356  |
| すだち<br>(露地・無袋)<br>(果実)<br>2000年度   | 1         | 460 g ai/ha <sup>WG</sup>         | 2         | 44         |             |        | 0.038  | 0.032  |
|                                    |           |                                   |           | 59         |             |        | 0.014  | 0.014  |
|                                    |           |                                   |           | 90         |             |        | <0.005 | <0.005 |
| かぼす<br>(露地・無袋)<br>(果実)<br>2000年度   | 1         | 460 g ai/ha <sup>WG</sup>         | 2         | 45         |             |        | 0.044  | 0.042  |
|                                    |           |                                   |           | 60         |             |        | <0.005 | <0.005 |
|                                    |           |                                   |           | 90         |             |        | 0.059  | 0.058  |
| ゆず<br>(露地・無袋)<br>(果実)<br>2000年度    | 1         | 845<br>~958 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 45         |             |        | <0.159 | <0.155 |
|                                    |           |                                   |           | 60         |             |        | 0.173  | 0.162  |
|                                    |           |                                   |           | 90         |             |        | 0.177  | 0.161  |

| 作物名<br>(栽培形態)<br>(分析部位)<br>試験年度 | 試験圃<br>場数 | 使用量<br>(g ai/ha)                  | 回数<br>(回) | PHI<br>(日) | 残留値 (mg/kg) |        |        |       |       |
|---------------------------------|-----------|-----------------------------------|-----------|------------|-------------|--------|--------|-------|-------|
|                                 |           |                                   |           |            | フルジオキシソニル   |        |        |       |       |
|                                 |           |                                   |           |            | 公的分析機関      |        | 社内分析機関 |       |       |
|                                 |           |                                   |           |            | 最高値         | 平均値    | 最高値    | 平均値   |       |
| うめ<br>(果実)<br>2002年度            | 2         | 345<br>~460 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 30         | 0.150       | 0.050  | 0.128  | 0.124 |       |
|                                 |           |                                   |           | 45         | 0.030       | 0.029  | 0.034  | 0.032 |       |
|                                 |           |                                   |           | 60         | <0.005      | <0.005 | 0.008  | 0.008 |       |
|                                 |           |                                   | 2         | 29         | 0.522       | 0.516  | 0.768  | 0.764 |       |
|                                 |           |                                   |           | 45         | 0.146       | 0.142  | 0.133  | 0.130 |       |
|                                 |           |                                   |           | 60         | <0.005      | <0.005 | 0.010  | 0.010 |       |
| いちご<br>(施設)<br>(果実)<br>1996年度   | 2         | 267 g ai/ha <sup>SC</sup>         | 1         | 1          | 0.467       | 0.460  | 0.306  | 0.302 |       |
|                                 |           |                                   |           | 2          | 1           | 0.815  | 0.810  | 0.628 | 0.604 |
|                                 |           |                                   |           | 3          | 1           | 0.726  | 0.724  | 0.480 | 0.480 |
|                                 |           |                                   | 2         | 1          | 1           | 0.786  | 0.782  | 0.576 | 0.554 |
|                                 |           |                                   |           | 2          | 1           | 1.44   | 1.42   | 1.31  | 1.30  |
|                                 |           |                                   |           | 3          | 1           | 1.45   | 1.41   | 1.35  | 1.32  |
|                                 | 2         | 400 g ai/ha <sup>SC</sup>         | 1         | 1          | 0.693       | 0.682  | 0.811  | 0.789 |       |
|                                 |           |                                   |           | 2          | 1           | 1.00   | 0.999  | 1.25  | 1.20  |
|                                 |           |                                   |           | 3          | 1           | 1.07   | 1.04   | 0.990 | 0.979 |
|                                 |           |                                   | 2         | 1          | 1           | 1.475  | 1.35   | 0.818 | 0.806 |
|                                 |           |                                   |           | 2          | 1           | 1.22   | 1.21   | 1.38  | 1.37  |
|                                 |           |                                   |           | 3          | 1           | 1.53   | 1.47   | 1.22  | 1.18  |
| ぶどう<br>(施設)<br>(果実)<br>1999年度   | 2         | 345<br>~460 g ai/ha <sup>WG</sup> | 2         | 30         | 0.818       | 0.810  | 0.681  | 0.632 |       |
|                                 |           |                                   |           | 45         | 1.18        | 1.18   | 1.75   | 1.64  |       |
|                                 |           |                                   |           | 60         | 0.176       | 0.172  | 0.076  | 0.076 |       |
|                                 |           |                                   | 3         | 7          | 0.948       | 0.940  | 1.33   | 1.25  |       |
|                                 |           |                                   |           | 14         | 0.463       | 0.460  | 1.20   | 1.014 |       |
|                                 |           |                                   |           | 21         | 0.430       | 0.418  | 0.95   | 0.93  |       |

1 注) WP : 水和剤、SC : フロアブル剤、WG : 顆粒水和剤

2 ・すべてのデータが定量限界未満の場合は定量限界値の平均に<を付して記載した。

1 <別紙 4：作物残留試験成績（添加物としての使用）>

2 (1)かんきつ類

3

[参照 添付 6-1、6-2]

4 表 1-1. オレンジ

| 作物名<br>(品種)<br>試験年          | 栽培場所                      | 使用<br>回数       | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法                                | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup>                                   |                                       |
|-----------------------------|---------------------------|----------------|---|--|---------------------------------------|
|                             |                           |                |   | 最大値  | 最小値                                   |
| オレンジ<br>(バレンシア)<br>2001 年   | 米国<br>フロリダ州               | 1              | 2.2g ai/L<br>Dip 処理   | 1.56   | 1.28                                  |
|                             |                           |                | 2.4g ai/L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理)                            | 0.96   | 0.85                                  |
|                             | 米国<br>カリフォルニア州            | 1              | 2.4g ai/L<br>Dip 処理   | 3.39   | 2.21                                  |
|                             |                           |                | 2.4g ai/L<br>Dip 処理   | 全果実：2.99<br>果皮：1.92<br>果肉：3.35                               | 1.41<br>0.55<br>0.92                  |
|                             | 米国<br>フロリダ州               | 1<br>+<br>1    | 2.2+2.4g ai/L<br>Dip 処理                                     | 1.98   | 1.40                                  |
|                             | 米国<br>カリフォルニア州            | 1<br>+<br>1    | 2.4+2.4g ai/L<br>Dip 処理                                     | 2.96   | 2.86                                  |
|                             |                           |                | 0.096g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                 | 1.09   | 0.91                                  |
|                             |                           | 1              | 0.097g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                 | 0.49   | 0.48                                  |
|                             |                           |                | 1<br>+<br>1   | 0.098+0.097g ai<br>/kg 果実<br>Spray 処理                        | 0.70                                  |
|                             | オレンジ<br>(バレンシア)<br>2002 年 | 米国<br>カリフォルニア州 | 1   | 0.002g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                  | 全果実：0.85<br>果 肉：0.08                  |
| 0.004g ai/kg 果実<br>Spray 処理 |                           |                |   | 全果実：1.0<br>全果実(洗浄後)：<br>0.19<br>果 肉：0.11                     | 0.90<br>0.06<br>0.05                  |
| 1<br>+<br>1                 |                           |                | 0.29g ai/L<br>Drench 処理<br>+<br>0.001g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 冷蔵 6 日後：<br>0.58<br>冷蔵 14 日後：<br>0.60                        | 0.33<br>0.35                          |
|                             |                           |                | 1<br>+<br>1   | 0.61g ai /L<br>Drench 処理<br>+<br>0.002g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 冷蔵 6 日後：<br>0.71<br>冷蔵 14 日後：<br>0.72 |
|                             |                           |                |   |  |                                       |

5 |

1 表 1-2. レモン

| 作物名<br>(品種)<br>試験年     | 栽培場所                                  | 使用<br>回数                                | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法      | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup>                            |      |
|------------------------|---------------------------------------|---|-----------------------------------|---|------|
|                        |                                       |   |                                   | 最大値   | 最小値  |
| レモン<br>(ユーレカ)<br>2001年 | 米国<br>カリフォルニア州                        | 1                                       | 2.4kg ai/L<br>Dip 処理              | 3.29  | 2.45 |
|                        |                                       |   | 2.4g ai /L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理) | 1.39  | 0.64 |
|                        |                                       |   | 2.4+2.4g ai/L<br>Dip 処理           | 4.28  | 2.01 |
|                        |                                       |   | 0.093g ai/kg 果実<br>Spray 処理       | 0.54  | 0.53 |
|                        |                                       |   |                                   | 果実 : 0.65<br>ジュース : <0.02<br>オイル : 39.7<br>絞り粕 : 1.39 |      |
|                        |                                       |   | 0.10g ai/kg 果実<br>Spray 処理        | 1.14  | 1.01 |
|                        |                                       | 0.10g ai/kg 果実<br>Spray 処理<br>(ワックス未処理) | 0.47                              | 0.46  |      |
| 1<br>+<br>1            | 0.105+0.102g ai<br>/kg 果実<br>Spray 処理 | 1.01                                    | 0.65                              |   |      |

2

1 表 1-3. レモン

| 作物名<br>(品種)<br>試験年     | 栽培場所                         | 使用<br>回数             | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法 | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup> |      |
|------------------------|------------------------------|----------------------|------------------------------|----------------------------|------|
|                        |                              |                      |                              | 最大値                        | 最小値  |
| レモン<br>(ユーレカ)<br>2004年 | 米国<br>カリフォルニア州               | 1                    | 0.61g ai/L<br>Drench 処理      | 処理当日<br>(洗浄前) : 1.1        | 0.80 |
|                        |                              |                      |                              | 30-31 日後<br>(洗浄後) : 1.4    |      |
|                        |                              | 1<br>+               | 0.61g ai/L<br>Drench 処理<br>+ | 処理当日<br>(洗浄後) : 0.55       | 0.46 |
|                        |                              |                      |                              | 30-31 日後<br>(洗浄後) : 1.1    |      |
|                        |                              | 1<br>+               | 0.61g ai/L<br>Drench 処理<br>+ | 処理当日 : 2.1                 | 2.1  |
|                        |                              |                      |                              | 14 日後<br>(洗浄後) : 1.5       |      |
| 1<br>+                 | 0.61g ai/L<br>Drench 処理<br>+ | 処理当日 : 1.7           | 1.3                          |                            |      |
|                        |                              | 14 日後<br>(洗浄後) : 1.8 |                              |                            |      |
| 1<br>+                 | 0.61g ai/L<br>Drench 処理<br>+ | 処理当日 : 2.5           | 2.0                          |                            |      |
|                        |                              | 14 日後<br>(洗浄後) : 2.1 |                              |                            |      |
|                        |                              |                      | 0.002g ai/kg 果実<br>Spray 処理  | 1.5                        | 1.2  |
|                        |                              |                      | 0.002g ai/kg 果実<br>Spray 処理  | 1.8                        | 1.6  |
|                        |                              |                      | 0.004g ai/kg 果実<br>Spray 処理  | 2.1                        | 2.1  |

2

1 表 1-4. グレープフルーツ

| 作物名<br>(品種)<br>試験年            | 栽培場所                      | 使用<br>回数    | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法                                   | 分析結果(mg/kg) <sup>2)</sup>                |                     |
|-------------------------------|---------------------------|-------------|--|--|---------------------|
|                               |                           |             |  | 最大値                                      | 最小値                 |
| グレープフルーツ<br>(ルビーレッド)<br>2001年 | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びテキサス州 | 1           | 2.4g ai/L<br>Dip 処理  | 6.79                                     | 3.43                |
|                               |                           |             | 2.4g ai/L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理)                               | 1.42                                     | 0.92                |
|                               |                           | 1<br>+<br>1 | 2.4g ai/L<br>Dip 処理<br>+<br>2.4g ai/L<br>Dip 処理                | 6.85                                     | 4.25                |
|                               | 米国<br>カリフォルニア州            | 1           | 0.099g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                    | 1.28                                     | 0.61                |
|                               |                           |             | 0.10g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                     | 0.62                                     | 0.40                |
|                               |                           | 1<br>+<br>1 | 0.10g ai/kg 果実<br>Spray 処理<br>+<br>0.099g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 0.55                                     | 0.49                |
| グレープフルーツ<br>(Marsh)<br>2004年  | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びテキサス州 | 1           | 0.002g ai/kg 果実<br>Spray 処理                                    | 全果実：0.92<br>果 肉：0.04                     | 0.05<br><0.02       |
|                               |                           | 1           | 0.004g ai /kg 果<br>実<br>Spray 処理                               | 全果実：1.5<br>全果実(洗浄<br>後)：0.58<br>果 肉：0.09 | 1.5<br>0.52<br>0.09 |

2



1 (2) 核果類

2

[参照 添付 6-3~6-8]

3 表 2-1. おうとう

| 作物名<br>(品種)<br>試験年                         | 栽培場所                            | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法      | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup>      |      |      |
|--|---------------------------------|----------|-----------------------------------|---------------------------------|------|------|
|  |                                 |          |                                   | 最大値                             | 最小値  |      |
| おうとう<br>(Bing)<br>1998 年                   | 米国<br>カリフォルニア州                  | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理              | 0.19                            | 0.08 |      |
|  |                                 |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理              | 0.42                            | 0.15 |      |
|  |                                 |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理              | 0.78                            | 0.11 |      |
| おうとう<br>(Hedelfingen)<br>1998 年            | 米国<br>ミシガン州                     | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理) | 0.15                            | 0.08 |      |
|  |                                 |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理) | 0.20                            | 0.19 |      |
|  |                                 |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理<br>(ワックス未処理) | 0.27                            | 0.11 |      |
| おうとう<br>(Chinook)<br>1998 年                | 米国<br>ワシントン州                    | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理              | 0.73                            | 0.28 |      |
|  |                                 |          | 0.37g ai/L<br>Dip 処理              | 0.53                            | 0.44 |      |
|  |                                 |          | 1.29g ai/L<br>Dip 処理              | 1.23                            | 0.91 |      |
| おうとう<br>(Montmorency 及び<br>Bing)<br>2004 年 | 米国<br>ニューヨーク市<br>及びカリフォルニア<br>州 | 1        | 0.29g ai/L<br>Dip 処理              | 1.0                             | 0.75 |      |
|  |                                 |          |                                   | 全果実 : 1.7<br>全果実<br>(洗浄後) : 1.4 | 1.4  | 0.80 |
|  |                                 |          |                                   | 冷蔵 5 日後 : 1.2<br>冷蔵 10 日後 : 1.3 | 1.0  | 0.85 |
|  |                                 |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理              | 1.9                             | 1.5  |      |
|  |                                 |          |                                   | 全果実 : 1.7<br>全果実<br>(洗浄後) : 1.6 | 1.1  | 0.96 |
|  |                                 |          |                                   | 冷蔵 5 日後 : 1.7<br>冷蔵 10 日後 : 1.7 | 1.4  | 1.1  |

4

1 表 2-2. もも

| 作物名<br>(品種)<br>試験年                           | 栽培場所                        | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法           | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup>   |                              |
|--|-----------------------------|----------|--|--|------------------------------|
|  |                             |          |  | 最大値  | 最小値                          |
| もも<br>(Goldcrest)<br>1998 年                  | メキシコ                        | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理                   | 3.6  | 1.5                          |
| もも<br>(Elegant Lady)<br>1998 年               | 米国<br>カリフォルニア州              | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷凍 79 日後 :<br>0.16   | 0.10                         |
|  |                             |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷凍 79 日後 :<br>0.18   | 0.05                         |
|  |                             |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷凍 79 日後 :<br>0.55   | 0.19                         |
| もも<br>(Jefferson)<br>1998 年                  | 米国<br>サウスカロライナ州             | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷凍 68 日後 :<br>0.21   | 0.15                         |
|  |                             |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷蔵 3 日後 : 0.28<br>冷蔵 7 日後 : 0.30<br>冷蔵 10 日後 :<br>0.39<br>冷凍 68 日後 :<br>0.37 | 0.28<br>0.20<br>0.34<br>0.17 |
|  |                             |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理                   | 冷凍 68 日後 :<br>0.49   | 0.35                         |
|  |                             |          | 0.060g ai/L<br>Dip 処理                  | 3.8  | 3.0                          |
| もも<br>(Elegant Lady)<br>2000 年               | 米国<br>カリフォルニア州              | 1        | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理 (少水<br>量) | 1.7  | 1.2                          |
|  |                             |          | 0.0018g ai/kg 果実<br>Spray 処理 (少水<br>量) | 1.9  | 1.3                          |
|  |                             |          | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理 (少水<br>量) | 2.8  | 2.7                          |
|  |                             |          | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理 (多水<br>量) | 1.8  | 1.3                          |
|  |                             |          | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理           | 3.9  | 1.4                          |
| もも<br>(Johnboy 及び<br>Elegant Lady)<br>2003 年 | 米国<br>ニューヨーク市及び<br>カリフォルニア州 | 1        | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理           | 3.9  | 1.4                          |
|  |                             |          | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理           | 全果実 : 5.5<br>全果実(洗浄後) :<br>4.3   | 2.3<br>1.2                   |

2 多水量は 100 gal (378.5 L)、少水量は 10-30 gal (37.8-113.6 L)

1  
2 表 2-3. すもも

| 作物名<br>(品種)<br>試験年                               | 栽培場所                        | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法      | 分析結果 (mg/kg) <sup>2)</sup>   |                              |
|--|-----------------------------|----------|-----------------------------------|--|------------------------------|
|  |                             |          |                                   | 最大値  | 最小値                          |
| すもも<br>(Casselman)<br>1998 年                     | 米国<br>カリフォルニア州              | 1        | 0.21g ai/L<br>Dip 処理              | 冷凍 54 日後 :<br>0.12   | 0.09                         |
|  |                             |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理              | 冷凍 54 日後 :<br>0.05   | 0.05                         |
|  |                             |          | 0.60g ai/L<br>Dip 処理              | 冷凍 54 日後 :<br>0.10   | 0.09                         |
|  |                             |          | 0.00088g ai/kg 果<br>実<br>Spray 処理 | 冷凍 60 日後 :<br>0.14   | 0.13                         |
|  |                             |          | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理      | 冷蔵 3 日後 :<br>0.59<br>冷蔵 7 日後 :<br>0.47<br>冷蔵 10 日後 :<br>0.47<br>冷凍 60 日後 :<br>0.47 | 0.41<br>0.42<br>0.17<br>0.42 |
| 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理                     | 冷凍 60 日後 :<br>1.06          | 0.79     |                                   |  |                              |
| すもも<br>(Loyal Diamond<br>及び Casselman)<br>2004 年 | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びニューヨーク市 | 1        | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理      | 0.71   | 0.19                         |
|  |                             | 1        | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理      | 処理当日 : 1.3<br>処理当日<br>(洗浄後) : 1.7  | <0.02<br>0.08                |
|  |                             |          |                                   | 冷蔵 5 日後 :<br>1.9   | 0.31                         |
|  |                             |          |                                   | 冷蔵 15 日後 :<br>1.7<br>冷蔵 15 日後<br>(洗浄後) : 1.3                                       | 0.12<br>0.20                 |
|  |                             |          |                                   | 冷蔵 25 日後 :<br>1.5  | 0.24                         |

3

1 (3) 仁果類

2

[参照 添付 6-9~6-12]

3 表 3-1. りんご

| 作物名<br>(品種)<br>試験年   | 栽培場所                                 | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法 | 分析結果(mg/kg) <sup>2)</sup>       |               |
|--|--------------------------------------|----------|------------------------------|---------------------------------|---------------|
|  |                                      |          |                              | 最大値                             | 最小値           |
| りんご<br>(ふじ及び Red<br>Delicious)<br>2001 年                               | 米国<br>カリフォルニア州                       | 1        | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 1.1                             | 0.72          |
|  |                                      |          | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 1.7                             | 0.57          |
|  | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びワシントン州           | 1<br>+   | 1                            | 0.61g ai/L<br>Dip 処理<br>+       | 2.4           |
| りんご<br>(Red Spur Delicious、<br>Red Delicious 及び<br>マッキントッシュ)<br>2001 年 | 米国<br>アイダホ州、ミシガ<br>ン州及びニュージ<br>ャージー州 | 1        | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 0.75                            | 0.35          |
|  | 米国<br>ワシントン州                         |          |                              | 全果実：1.1<br>ジュース：0.10<br>絞り粕：7.3 |               |
| りんご<br>(Golden<br>Delicious 及び<br>Empire)<br>2004 年                    | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びニューヨーク<br>市      | 1<br>+   | 0.29g ai/L<br>Dip 処理<br>+    | 無洗浄：0.73<br>洗浄後：0.30            | 0.39<br><0.02 |
|  |                                      | 1        | 0.025g ai/kg 果実<br>Spray 処理  |                                 |               |
| りんご<br>(Golden<br>Delicious)<br>2003 年                                 | 米国<br>カリフォルニア州                       | 1<br>+   | 0.61g ai/L<br>Dip 処理<br>+    | 2.6                             | 2.3           |
|  |                                      | 1        | 0.025g ai/kg 果実<br>Spray 処理  |                                 |               |

4

5

1 表 3-2. なし

| 作物名<br>(品種)<br>試験年                   | 栽培場所                         | 使用<br>回数                     | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法 | 分析結果(mg/kg) <sup>2)</sup> |              |
|--------------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|---------------------------|--------------|
|                                      |                              |                              |                              | 最大値                       | 最小値          |
| なし<br>(Bartlett)<br>2000年            | 米国<br>ニュージャージー州              | 1                            | 0.48g ai/L<br>Drench 処理      | 0.76                      | 0.71         |
|                                      |                              |                              | 0.48g ai/L<br>Dip 処理         | 1.2                       | 0.79         |
| なし<br>(Shinko)<br>2000年              | 米国<br>カリフォルニア州               | 1                            | 0.61g ai/L<br>Drench 処理      | 1.6                       | 1.3          |
|                                      |                              |                              | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 2.7                       | 1.6          |
|                                      |                              | 1<br>+                       | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 2.8                       | 2.7          |
|                                      |                              |                              | 0.60g ai/L<br>Dip 処理         |                           |              |
| 1                                    | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 2.5                          | 1.4                          |                           |              |
| なし<br>(Anjou)<br>2000年               | 米国<br>ワシントン州及びア<br>イダホ州      | 1                            | 0.61g ai/L<br>Drench 処理      | 3.5                       | 1.1          |
|                                      |                              |                              | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 1.4                       | 0.67         |
|                                      | 1<br>+                       | 0.0029g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 1.6                          | 1.3                       |              |
|                                      |                              | 0.61g ai/L<br>Drench 処理      | 1.6                          | 1.5                       |              |
| 1                                    | 0.0029g ai/kg 果実<br>Spray 処理 |                              |                              |                           |              |
| なし<br>(Bosc 及び<br>Bartlett)<br>2004年 | 米国カリフォルニア<br>州及びニューヨーク<br>市  | 1<br>+                       | 0.29g ai/L<br>Drench 処理      | 無洗淨 : 0.97<br>洗淨後 : 0.63  | 0.42<br>0.09 |
|                                      |                              |                              | +                            |                           |              |
|                                      |                              | 1                            | 0.0012g ai/kg 果実<br>Spray 処理 |                           |              |
| なし<br>(Bartlett)<br>2003年            | 米国<br>カリフォルニア州               | 1<br>+                       | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 1.2                       | 1.1          |
|                                      |                              |                              | 1                            |                           |              |

2

1 (4) キウイフルーツ

[参照 添付 6-13、6-14]

2  
3 表 4

| 作物名<br>(品種)<br>試験年            | 栽培場所                      | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法 | 分析結果(mg/kg) <sup>2)</sup> |            |
|-------------------------------|---------------------------|----------|------------------------------|---------------------------|------------|
|                               |                           |          |                              | 最大値                       | 最小値        |
| キウイフルーツ<br>(Hayward)<br>2000年 | 米国<br>カリフォルニア州<br>及びオレゴン州 | 1        | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 9.5                       | 4.2        |
|                               | 米国<br>カリフォルニア州            | 1        | 0.0025g ai/kg 果実<br>Spray 処理 | 13.9                      | 0.6        |
| キウイフルーツ<br>(Hayward)<br>2004年 | 米国<br>カリフォルニア州            | 1        | 0.29g ai/L<br>Dip 処理         | 4.2                       | 0.67       |
|                               |                           |          | 0.29g ai/L<br>Dip 処理         | 処理当日 : 5.1<br>30日後 : 4.5  | 2.5<br>3.5 |
|                               |                           |          | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 処理当日 : 7.5<br>30日後 : 8.0  | 5.5<br>3.7 |

4

5

6

7 (5) ざくろ

[参照 添付 6-15]

8  
9 表 5

| 作物名<br>(品種)<br>試験年                     | 栽培場所           | 使用<br>回数 | 防かび処理量 <sup>1)</sup><br>処理方法 | 分析結果(mg/kg) <sup>2)</sup> |      |
|--|----------------|----------|------------------------------|---------------------------|------|
|  |                |          |                              | 最大値                       | 最小値  |
| ざくろ<br>(Wonderful)<br>2002年<br>及び2003年 | 米国<br>カリフォルニア州 | 1        | 0.61g ai/L<br>Dip 処理         | 1.13                      | 0.50 |

10

11 <sup>1)</sup> フルジオキソニル原体の含量を示す。

12 <sup>2)</sup> 特記しない限り、処理当日に無洗浄の全果実を分析した。

1 <別紙 5 : 推定摂取量>

2

[参照 添付 12]

| 作物名         | 残留基準値案 (mg/kg)  |                  |                | 摂取量 (µg/人/日)     |                   |                  |
|-------------|-----------------|------------------|----------------|------------------|-------------------|------------------|
|             | 農薬 <sup>a</sup> | 添加物 <sup>b</sup> | 案 <sup>c</sup> | 農薬 <sup>aa</sup> | 添加物 <sup>bb</sup> | 全体 <sup>cc</sup> |
| 米 (玄米)      | 0.02            | —                | 0.02           | 3.70             | 0                 | 3.70             |
| 小麦          | 0.02            | —                | 0.02           | 2.34             | 0                 | 2.34             |
| 大麦          | 0.02            | —                | 0.02           | 0.12             | 0                 | 0.12             |
| ライ麦         | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| とうもろこし      | 0.02            | —                | 0.02           | 0.05             | 0                 | 0.05             |
| そば          | 0.02            | —                | 0.02           | 0.07             | 0                 | 0.07             |
| その他の穀類      | 0.02            | —                | 0.02           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| 大豆          | 0.4             | —                | 0.4            | 22.44            | 0                 | 22.44            |
| 小豆類         | 0.4             | —                | 0.4            | 0.56             | 0                 | 0.56             |
| えんどう        | 0.4             | —                | 0.4            | 0.12             | 0                 | 0.12             |
| そら豆         | 0.4             | —                | 0.4            | 0.08             | 0                 | 0.08             |
| らっかせい       | 0.01            | —                | 0.01           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| その他の豆類      | 0.4             | —                | 0.4            | 0.04             | 0                 | 0.04             |
| ばれいしょ       | 0.02            | —                | 0.02           | 0.73             | 0                 | 0.73             |
| さといも        | 0.02            | —                | 0.02           | 0.23             | 0                 | 0.23             |
| かんしょ        | 0.02            | —                | 0.02           | 0.31             | 0                 | 0.31             |
| その他のいも類     | 0.02            | —                | 0.02           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| てんさい        | 0.02            | —                | 0.02           | 0.09             | 0                 | 0.09             |
| だいこん類の根     | 0.02            | —                | 0.02           | 0.90             | 0                 | 0.90             |
| だいこん類の葉     | 0.02            | —                | 0.02           | 0.04             | 0                 | 0.04             |
| かぶ類の根       | 0.02            | —                | 0.02           | 0.05             | 0                 | 0.05             |
| かぶ類の葉       | 10              | —                | 10             | 5.00             | 0                 | 5.00             |
| 西洋わさび       | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| クレソン        | 10              | —                | 10             | 1.00             | 0                 | 1.00             |
| はくさい        | 2               | —                | 2              | 58.80            | 0                 | 58.80            |
| キャベツ        | 2               | —                | 2              | 45.60            | 0                 | 45.60            |
| 芽キャベツ       | 2               | —                | 2              | 0.20             | 0                 | 0.20             |
| ケール         | 10              | —                | 10             | 1.00             | 0                 | 1.00             |
| こまつな        | 10              | —                | 10             | 43.00            | 0                 | 43.00            |
| きょうな        | 10              | —                | 10             | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| ちんげんさい      | 10              | —                | 10             | 14.00            | 0                 | 14.00            |
| カリフラワー      | 2               | —                | 2              | 0.80             | 0                 | 0.80             |
| ブロッコリー      | 2               | —                | 2              | 9.00             | 0                 | 9.00             |
| その他のあぶらな科野菜 | 10              | —                | 10             | 21.00            | 0                 | 21.00            |
| ごぼう         | 0.02            | —                | 0.02           | 0.09             | 0                 | 0.09             |
| サルシフィー      | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| アーティチョーク    | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| チコリ         | 30              | —                | 30             | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| エンダイブ       | 30              | —                | 30             | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| しゅんぎく       | 30              | —                | 30             | 75.00            | 0                 | 75.00            |
| レタス         | 30              | —                | 30             | 183.00           | 0                 | 183.00           |
| その他のきく科野菜   | 30              | —                | 30             | 12.00            | 0                 | 12.00            |
| たまねぎ        | 0.5             | —                | 0.5            | 15.15            | 0                 | 15.15            |
| ねぎ          | 5               | —                | 5              | 56.50            | 0                 | 56.50            |
| にんにく        | 0.02            | —                | 0.02           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| にら          | 10              | —                | 10             | 16.00            | 0                 | 16.00            |
| その他のゆり科野菜   | 10              | —                | 10             | 9.00             | 0                 | 9.00             |
| にんじん        | 0.7             | —                | 0.7            | 18.45            | 0                 | 18.45            |
| パースニップ      | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |

3

| 作物名         | 残留基準値案 (mg/kg)  |                  |                | 摂取量(μg/人/日)      |                   |                  |
|-------------|-----------------|------------------|----------------|------------------|-------------------|------------------|
|             | 農薬 <sup>a</sup> | 添加物 <sup>b</sup> | 案 <sup>c</sup> | 農薬 <sup>aa</sup> | 添加物 <sup>bb</sup> | 全体 <sup>cc</sup> |
| パセリ         | 30              | —                | 30             | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| セロリ         | 0.01            | —                | 0.01           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| その他のせり科野菜   | 30              | —                | 30             | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| トマト         | 2               | —                | 2              | 48.60            | 0                 | 48.60            |
| ピーマン        | 0.01            | —                | 0.01           | 0.04             | 0                 | 0.04             |
| なす          | 2               | —                | 2              | 8.00             | 0                 | 8.00             |
| その他のなす科野菜   | 0.01            | —                | 0.01           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| きゅうり        | 2               | —                | 2              | 32.60            | 0                 | 32.60            |
| かぼちゃ        | 0.01            | —                | 0.01           | 0.09             | 0                 | 0.09             |
| しろうり        | 0.01            | —                | 0.01           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| すいか         | 0.03            | —                | 0.03           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| メロン類果実      | 0.03            | —                | 0.03           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| まくわうり       | 0.03            | —                | 0.03           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| その他のうり科野菜   | 0.02            | —                | 0.02           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| ほうれんそう      | 2               | —                | 2              | 0.37             | 0                 | 0.37             |
| しょうが        | 0.02            | —                | 0.02           | 0.01             | 0                 | 0.01             |
| 未成熟えんどう     | 5               | —                | 5              | 3.00             | 0                 | 3.00             |
| 未成熟いんげん     | 5               | —                | 5              | 9.50             | 0                 | 9.50             |
| えだまめ        | 5               | —                | 5              | 0.50             | 0                 | 0.50             |
| その他の野菜      | 10              | —                | 10             | 378.00           | 0                 | 378.00           |
| みかん         | 0.1             | —                | 0.1            | 4.16             | 0                 | 4.16             |
| なつみかんの果実全体  | 1               | 10               | 10             | 0.10             | 1.00              | 1.00             |
| レモン         | 1               | 10               | 10             | 0.30             | 3.00              | 3.00             |
| オレンジ        | 1               | 10               | 10             | 0.40             | 4.00              | 4.00             |
| グレープフルーツ    | 1               | 10               | 10             | 1.20             | 12.00             | 12.00            |
| ライム         | 1               | 10               | 10             | 0.10             | 1.00              | 1.00             |
| その他のかんきつ類   | 1               | 10               | 10             | 0.40             | 4.00              | 4.00             |
| りんご         | —               | 5                | 5              | 0                | 176.50            | 176.50           |
| 西洋なし        | —               | 5                | 5              | 0                | 0.50              | 0.50             |
| マルメロ        | —               | 5                | 5              | 0                | 0.50              | 0.50             |
| びわ          | —               | 5                | 5              | 0                | 0.50              | 0.50             |
| もも          | 2               | 5                | 5              | 1.00             | 2.50              | 2.50             |
| ネクタリン       | 2               | 5                | 5              | 0.20             | 0.50              | 0.50             |
| あんず         | 2               | 5                | 5              | 0.20             | 0.50              | 0.50             |
| すもも         | 2               | 5                | 5              | 0.40             | 1.00              | 1.00             |
| うめ          | 0.5             | 5                | 5              | 0.55             | 5.50              | 5.50             |
| おうとう        | —               | 5                | 5              | 0                | 0.50              | 0.50             |
| いちご         | 5               | —                | 5              | 1.50             | 0                 | 1.50             |
| ラズベリー       | 5               | —                | 5              | 0.50             | 0                 | 0.50             |
| ブラックベリー     | 5               | —                | 5              | 0.50             | 0                 | 0.50             |
| ブルーベリー      | 2               | —                | 2              | 0.20             | 0                 | 0.20             |
| ハuckleベリー   | 2               | —                | 2              | 0.20             | 0                 | 0.20             |
| その他のベリー類果実  | 5               | —                | 5              | 0.20             | 0                 | 0.20             |
| ぶどう         | 5               | —                | 5              | 29.00            | 0                 | 29.00            |
| キウイ         | —               | 20               | 20             | 0                | 36.00             | 36.00            |
| その他の果実(ざくろ) | —               | 5                | 5              | 0                | 19.50             | 19.50            |
| ひまわりの種子     | 0.01            | —                | 0.01           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| べにばなの種子     | 0.01            | —                | 0.01           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| 綿実          | 0.05            | —                | 0.05           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| なたね         | 0.02            | —                | 0.02           | 0.00             | 0                 | 0.00             |



1

| 作物名        | 残留基準値案 (mg/kg)  |                  |                | 摂取量(μg/人/日)      |                   |                  |
|------------|-----------------|------------------|----------------|------------------|-------------------|------------------|
|            | 農薬 <sup>a</sup> | 添加物 <sup>b</sup> | 案 <sup>c</sup> | 農薬 <sup>aa</sup> | 添加物 <sup>bb</sup> | 全体 <sup>cc</sup> |
| その他のオイルシード | 0.05            | —                | 0.05           | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| その他のナッツ類   | 0.2             | —                | 0.2            | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| みかんの皮      | 10              | —                | 10             | 1.00             | 0                 | 1.00             |
| その他のスパイス類  | 10              | —                | 10             | 0.00             | 0                 | 0.00             |
| その他のハーブ類   | 10              | —                | 10             | 1.00             | 0                 | 1.00             |
| 陸棲哺乳類の肉類   | 0.01            | —                | 0.01           | 0.58             | 0                 | 0.58             |
| 陸棲哺乳類の乳類   | 0.01            | —                | 0.01           | 1.43             | 0                 | 1.43             |
| 家禽の肉類      | 0.01            | —                | 0.01           | 0.20             | 0                 | 0.20             |
| 家禽の卵類      | 0.05            | —                | 0.05           | 2.01             | 0                 | 2.01             |
| 合計 (mg)    |                 |                  |                | 1,160            | 269               | 1,424            |

- 2 a 農薬として使用した場合、食品中に残留する最大量から提案する残留基準値案
- 3 b 添加物として使用した場合、食品中に残留する最大量から提案する使用基準案
- 4 c 残留基準値案（食品中に残留する最大残留量から提案する基準値、農薬および添加物の両使用法を含む）
- 5 aa 農薬としての残留基準値案に作物摂取量を乗じた値（農薬として使用された場合の最大摂取量）
- 6 bb 添加物としての使用基準案に作物摂取量を乗じた値（添加物として使用された場合の最大摂取量）
- 7 cc 残留基準値案に作物摂取量を乗じた値（最大摂取量）

- 1 <参照>
- 2 1 食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）の一部を改正する件（平成
- 3 17年11月29日付、平成17年厚生労働省告示第499号）
- 4 2 農薬抄録 フルジオキサニル（殺菌剤）（平成19年3月12日改訂）：シンジェンタジャ
- 5 パン株式会社、未公表
- 6 3 JMPR : Pesticide residues in food - 2004, Toxicological evaluation, Fludioxonil 47-84
- 7 [参照 添付7-1、7-2]
- 8 4 US EPA : Health Effects Division (HED) Risk Assessment (2003) [参照 添付8-4]
- 9 5 US EPA : Federal Register/Vol.65, No.251, 82927~82937 (2000) [参照 添付8-1]
- 10 6 US EPA : Federal Register/Vol.67, No.149, 50354~50362 (2002) [参照 添付8-2]
- 11 7 US EPA : Federal Register/Vol.69, No.188, 58084~58091 (2004) [参照 添付8-3]
- 12 8 豪州 APVMA 評価書 (Summary)、1997年 [参照 添付10]
- 13 9 カナダ PMRA 評価書 (2006年) [参照 添付11]
- 14 10 食品健康影響評価について
- 15 (URL; <http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-fludioxonil-190626.pdf>)
- 16 11 第196回食品安全委員会
- 17 (URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai196/dai196kai-siryou1-3.pdf>)
- 18 12 第22回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会
- 19 (URL; [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2\\_dai22/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai22/index.html))
- 20 13 第23回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会
- 21 (URL; [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2\\_dai23/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai23/index.html))
- 22 14 第45回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
- 23 (URL; [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai\\_dai45/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai45/index.html))
- 24 15 フルジオキサニル 指定要請資料概要：シンジェンタジャパン株式会社 未公表
- 25 16 第264回食品安全委員会
- 26 (URL; <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai264/dai264kai-siryou1-2.pdf>)
- 27 17 第47回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会
- 28 (URL; [http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai\\_dai47/index.html](http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai47/index.html))
- 29 18 第65回食品安全委員会添加物専門調査会
- 30 (URL; <http://www.fsc.go.jp/senmon/tenkabutu/t-dai65/index.html>)
- 31 19 第67回食品安全委員会添加物専門調査会
- 32 (URL; <http://www.fsc.go.jp/senmon/tenkabutu/t-dai67/index.html>)
- 33 20 第69回食品安全委員会添加物専門調査会
- 34 (URL;)
- 35 21 食品健康影響評価について
- 36 (URL; [http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-fludioxonil\\_201121.pdf](http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-fludioxonil_201121.pdf))
- 37 22 第69回食品安全委員会添加物専門調査会 資料1-1
- 38 23 Di Santo R, Costi R, Artico M, Massa S, Lampis G, Deidda D, et al: Pyrrolnitrin and

- 1 [related pyrroles endowed with antibacterial activities against Mycobacterium](#)  
2 [tuberculosis. Bioorg Med Chem Lett. 1998; 8\(20\): 2931-6](#)
- 3 [24 van Pée KH, Ligon JM: Biosynthesis of pyrrolnitrin and other phenylpyrrole derivatives](#)  
4 [by bacteria. Nat Prod Rep 2000; 17\(2\): 157-64](#)
- 5 [25 Tripathi RK, Gottlieb D: Mechanism of action of the antifungal antibiotic pyrrolnitrin.](#)  
6 [J Bacteriol 1969; 100\(1\): 310-8](#)
- 7 [26 Ochiai N, Fujimura M, Oshima M, Motoyama T, Ichiishi A, Yamada-Okabe H,et al:](#)  
8 [Effects of iprodione and fludioxonil on glycerol synthesis and hyphal development in](#)  
9 [Candida albicans. Biosci Biotechnol Biochem 2002 ; 66\(10\): 2209-15](#)